

人と技術で次代を拓く

**MEITEC**

メイテックグループ

## 2016年3月期 決算説明会

---

2016年5月10日  
株式会社メイテック  
代表取締役社長  
グループCEO  
國分 秀世

- 私からは、  
2016年3月期の業績、  
中期経営計画の進捗、  
2017年3月期の業績予想、を説明させていただきます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

# 1. 2016年3月期 業績



- まず、2016年3月期の業績を説明します。

## 2016年3月期業績 グループ連結

- ✓ 主要顧客である大手製造業が技術開発投資を持続された為、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前期比7.0%の増収、営業利益は14.0%の増益
- ✓ 約10億円の特別利益を計上したため、当期純利益は大幅増益の80.83億円

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'15年3月期 実績	'16年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'16年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	82,136	87,888	+5,752	+7.0%	86,400	+1,488
売上原価	60,481	64,661	+4,180	+6.9%	63,800	+861
原価率	73.6%	73.6%	—			
販売管理費	12,114	12,352	+238	+2.0%	12,600	▲248
営業利益	9,540	10,874	+1,334	+14.0%	10,000	+874
営業利益率	11.6%	12.4%	+0.8%		11.6%	+0.8%
経常利益	9,643	10,845	+1,202	+12.5%	10,000	+845
特別損益	△3,601	1,019	+4,620			
税金等調整前当期純利益	6,041	11,865	+5,824	+96.4%		
親会社株主に帰属する当期純利益	3,659	8,083	+4,423	+120.9%	7,600	+483
当期純利益率	4.5%	9.2%	+4.7%			
自己資本当期純利益率(ROE)	9.9%	21.5%	+11.6%			
総資産経常利益率(ROA)	15.2%	16.7%	+1.5%			

3

- グループ連結の業績です。
- 主要顧客の大手製造業が技術開発投資を持続されたため、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前期比7.0%増収の878億88百万円、営業利益は14.0%増益の108億74百万円、経常利益は12.5%増益の108億45百万円となりました。
- 当期純利益は、前期が約36億円の特別損失に対し、今期は約10億円の特別利益で大きく損益が改善したため、大幅増益の80億83百万円となりました。

## 2016年3月期業績 グループ・セグメント

- ✓ 引き続き連結売上高の9割超を占める派遣事業が業績をけん引
- ✓ エンジニアに特化した紹介事業とエンジニアリングソリューション事業、ともに増収増益

グループ・セグメント (百万円)	'15年3月期 実績	'16年3月期 実績	前年比 増減額	前年比 増減率
派遣事業 売上高	79,346	84,614	+5,267	+6.6%
構成比	96.6%	96.3%	▲0.3%	
営業利益	9,145	10,341	+1,195	+13.1%
紹介事業 売上高	1,340	1,499	+159	+11.9%
構成比	1.6%	1.7%	+0.1%	
営業利益	387	467	+79	+20.6%
エンジニアリングソリューション事業 売上高	1,657	2,005	+347	+21.0%
構成比	2.0%	2.3%	+0.3%	
営業利益	12	69	+57	+479.4%

※ 2014年10月1日付で当社の連結子会社である株式会社メイテックCAEを吸収合併したことに伴い「エンジニアリングソリューション事業」に含めていたCAEの経営成績を「派遣事業」に含めて表示しております。よって、前年同期比は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

4

- グループ・セグメントの業績です。
- メイテックが中核となる派遣事業、エンジニアに特化した紹介事業、エンジニアリングソリューション事業、の全てで増収増益となりました。

## 2016年3月期業績 メイテック

- ✓ 売上高は前期比6.5%増収の688.78億円(過去最高)、営業利益は14.3%増益の90.61億円
- ✓ 約10億円の特別利益を計上したため、当期純利益は大幅増益の73.91億円

メイテック (百万円)	'15年3月期 実績	'16年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'16年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	64,675	68,878	+4,202	+6.5%	67,900	+978
売上原価	47,857	50,884	+3,026	+6.3%	50,300	+584
原価率	74.0%	73.9%	▲0.1%		74.1%	▲0.2%
販売管理費	8,891	8,932	+40	+0.5%	9,200	▲268
営業利益	7,925	9,061	+1,135	+14.3%	8,400	+661
営業利益率	12.3%	13.2%	+0.9%		12.4%	+0.8%
経常利益	8,438	9,526	+1,087	+12.9%	8,900	+626
特別損益	△ 3,349	1,037	+4,386			
税引前当期純利益	5,089	10,563	+5,474	+107.6%		
当期純利益	3,340	7,391	+4,051	+121.3%	7,000	+391
稼働率(全体)	96.1%	97.2%	+1.1%		96.8%	+0.4%
稼働時間(h/day)	8.93	8.83	▲0.10	▲1.1%	8.77	+0.06
採用数<名>	559	455	▲104	▲18.6%	489	▲34
新卒採用数	378	299	▲79	▲20.9%	299	—
中途採用数	181	156	▲25	▲13.8%	190	▲34
退職率	3.5%	3.9%	+0.4%		4.4%	▲0.5%
期末エンジニア社員数<名>	6,299	6,497	+198	+3.1%		

5

- メイテック単体の業績です。
- 稼働人員数の増加により、売上高は前期比6.5%増収の688億78百万円、営業利益は14.3%増益の90億61百万円、当期純利益は、約10億円の特別利益計上により大幅増益の73億91百万円となりました。
- 新卒・既存ともエンジニア社員の配属が順調に進められたため、稼働率は前期比+1.1%増加の97.2%となりました。
- なお、稼働時間は、時間外労働の減少などを背景に、前期比で▲0.10時間低下しました。

## 2016年3月期業績 メイトックフィルダース

- ✓ 売上高は前期比11.9%増収の133.27億円(過去最高)、営業利益は12.2%増益の12.04億円
- ✓ 期末エンジニア社員数は前期比11.4%増の1,783名

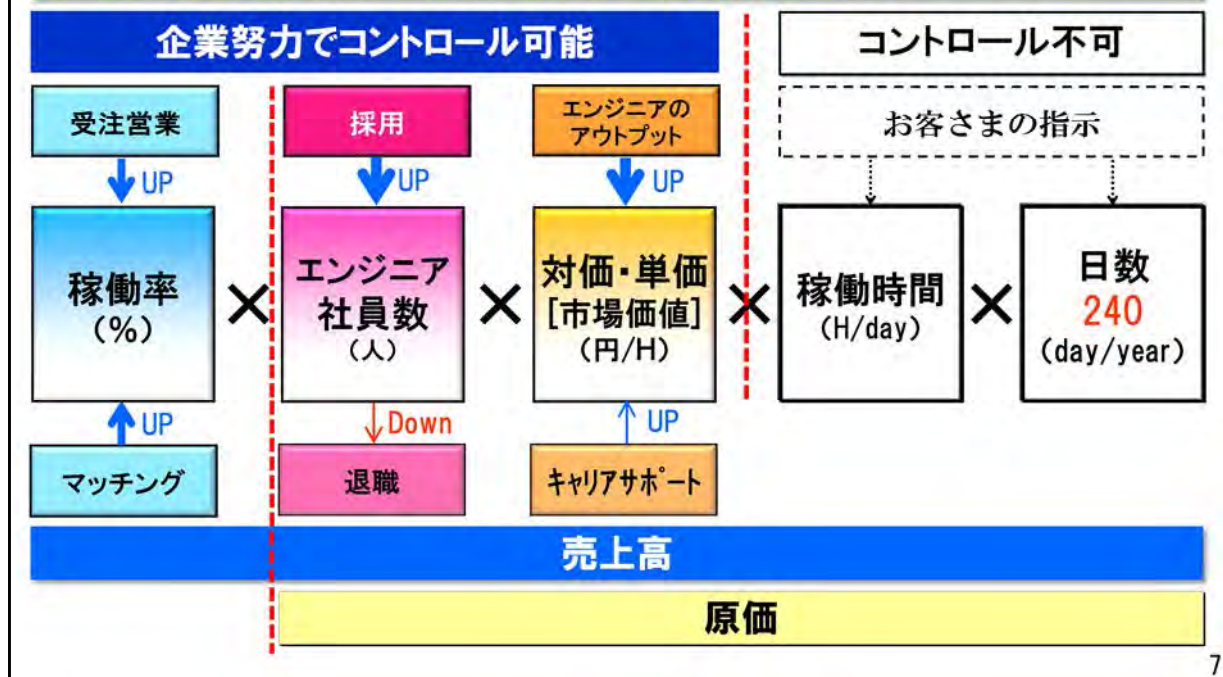
メイトックフィルダース (百万円)	'15年3月期 実績	'16年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'16年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	11,911	13,327	+1,416	+11.9%	13,000	+327
売上原価	9,154	10,288	+1,134	+12.4%	10,100	+188
原価率	76.9%	77.2%	+0.3%		77.7%	▲0.5%
販売管理費	1,682	1,834	+151	+9.0%	1,800	+34
営業利益	1,073	1,204	+130	+12.2%	1,100	+104
営業利益率	9.0%	9.0%	—		8.5%	+0.5%
経常利益	1,074	1,205	+131	+12.2%	1,100	+105
特別損益	△ 5	△ 7	▲2			
税引前当期純利益	1,068	1,198	+129	+12.1%		
当期純利益	648	786	+137	+21.2%	700	+86
稼働率(全体)	96.0%	96.2%	+0.2%		95.7%	+0.5%
稼働時間(h/day)	9.04	8.97	▲0.07	▲0.8%	8.93	+0.04
採用数(名)	282	312	+30	+10.6%	280	+32
新卒採用数	173	175	+2	+1.2%	175	—
中途採用数	109	137	+28	+25.7%	105	+32
退職率	8.6%	7.5%	▲1.1%		8.1%	▲0.6%
期末エンジニア社員数(名)	1,601	1,783	+182	+11.4%		

6

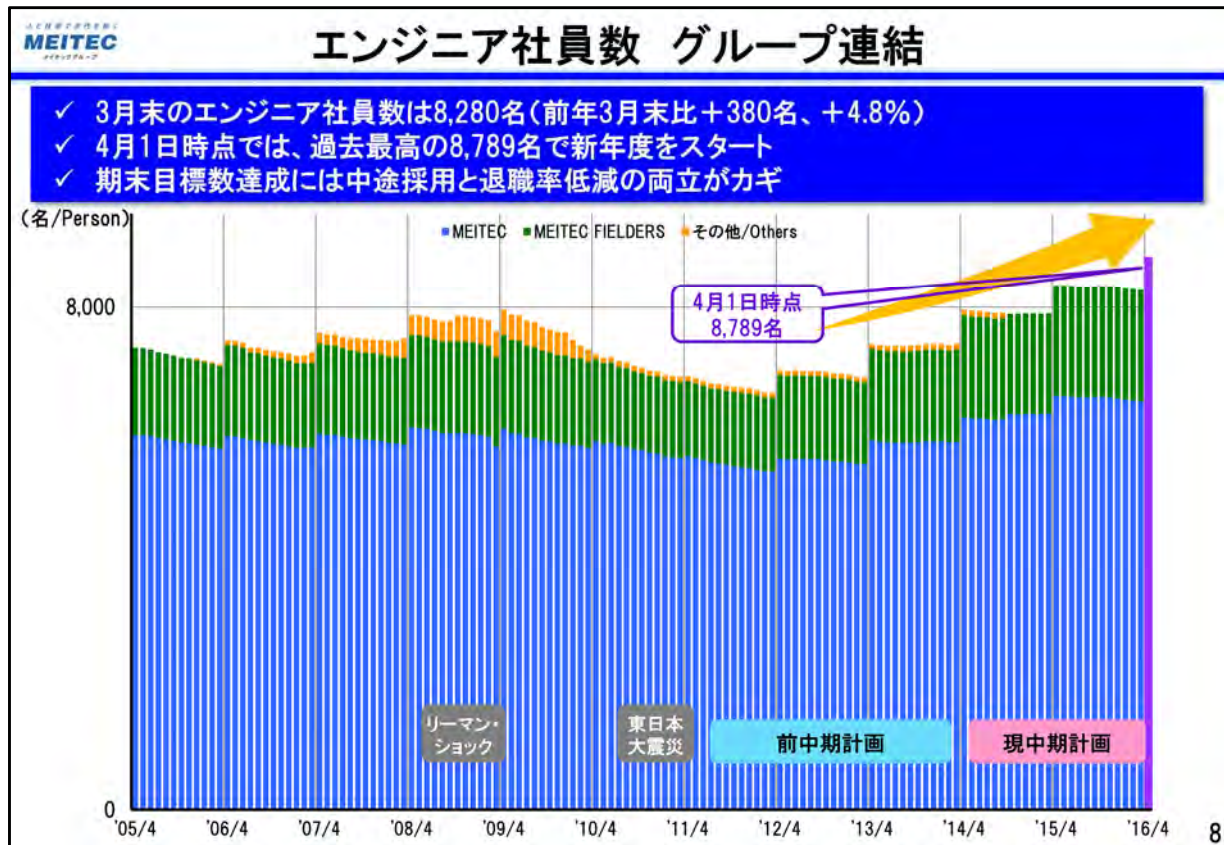
- メイトックフィルダースの業績です。
- メイトック同様、稼働人員数の増加により、売上高は前期比11.9%増収の133億27百万円、営業利益は12.2%増益の12億4百万円、当期純利益は21.2%増益の7億86百万円となりました。
- エンジニア社員の配属が順調に進んだため、稼働率は前期比+0.2%増加の96.2%となりました。
- また、稼働時間は、メイトック同様、前期比で▲0.07時間低下しました。

## エンジニア派遣事業の売上高・原価の概要

- ✓ 高水準の「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵
- ✓ 稼働時間は重要指標の一つだが、当社グループではコントロール不可

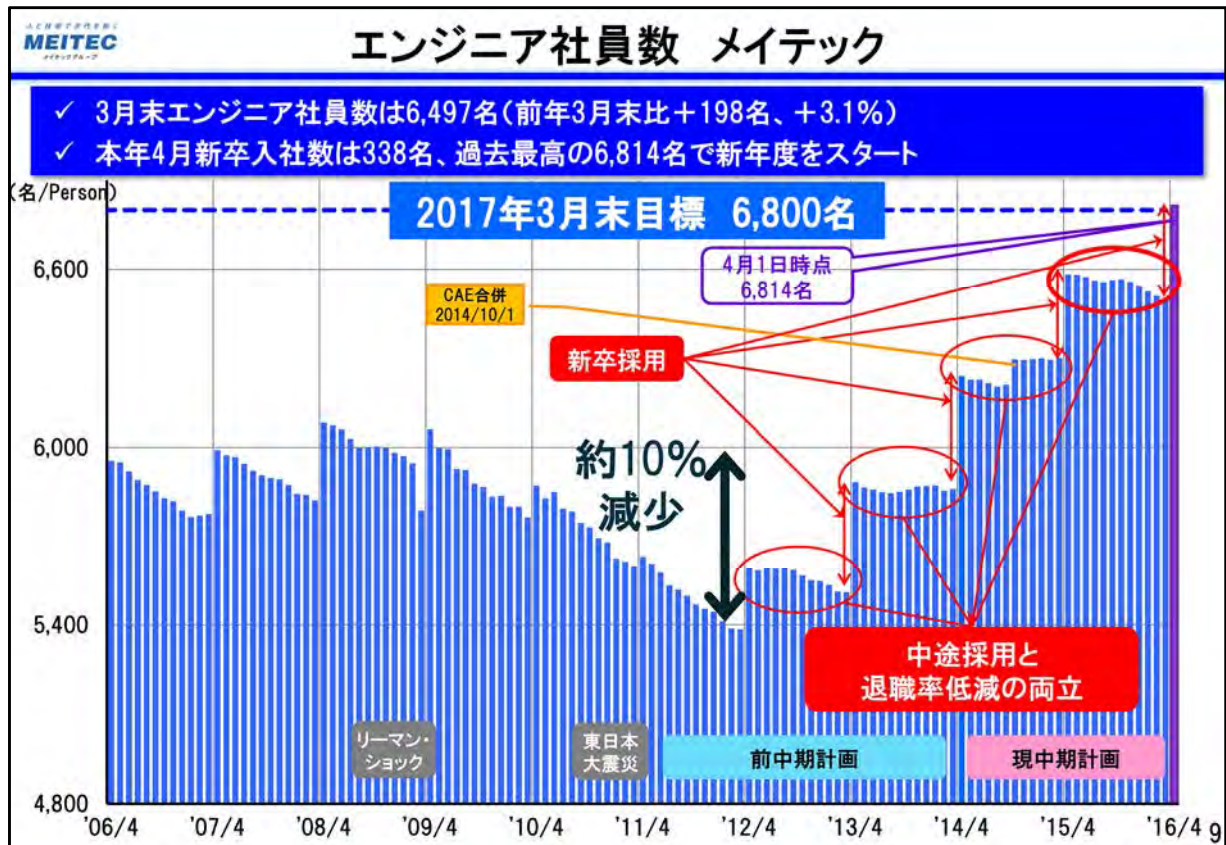


- 無期雇用・正社員エンジニア派遣事業の売上高・原価の構成要素の概要です。
- 稼働率、エンジニア社員数、対価・単価は、今後も高める取り組みを行っていきます。
- この1年間を振り返ると、「企業努力でコントロール可能」な指標はおおむね順調でした。
- 当社でコントロール不可の「稼働時間」が低下しましたが、引き続き重要な指標として注視していきます。
- 日数も当社でコントロール不可の指標ですが、「うるう年」でしたので、+1日の良い影響が有りました。

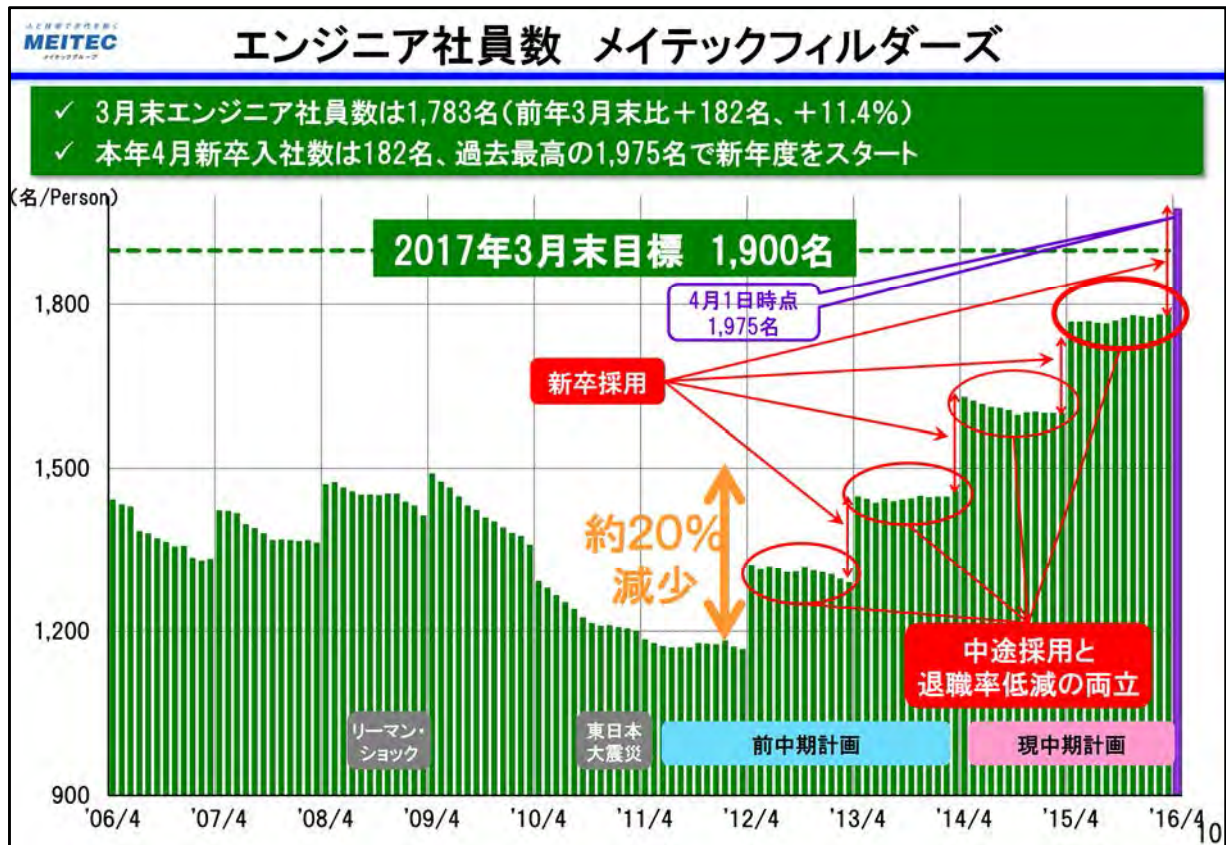


- 企業努力の結果が表れるグループのエンジニア社員数の推移です。
- 2016年3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+380名、+4.8%増加の8,280名となりました。
- なお、4月1日時点のエンジニア社員数は過去最高の8,789名となり、リーマンショック以降、オーガニックな増員が進められています。





- 続いてメイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+198名、+3.1%増加の6,497名となりました。
- また、新卒社員338名を迎え、4月1日時点のエンジニア社員数は、過去最高の6,814名となりました。
- 新卒社員が入社した時点で、一旦は中期計画で掲(かか)げた、来年3月末目標の6,800名を達成していますが、今後1年間での中途採用と退職率低減を両立することが目標達成の鍵となります。
- 今後もメイテックブランドを構築しつつ、質にこだわった採用活動を継続していきます。



- メイテックフィルダーズのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+182名、+11.4%増加の1,783名となりました。
- また、4月1日時点では、新卒入社182名を含む1,975名となり、中期計画で掲(かか)げた、来年3月末エンジニア社員数の目標数値1,900名を達成していますが、メイテック同様、今後の中途採用と退職率低減の両立が目標達成の鍵となります。

## 2016年3月期の採用実績

### 中途採用(2016年3月期)

- ✓ 受注動向に即した機械系・電気電子系を中心に、採用基準を保持し、円滑な配属の前提で活動
- ✓ メーカーをはじめ、採用意欲は高止まりで採用環境はより激化。中でも大手・中堅メーカーと採用競合となるメイテックは、応募者数確保に苦戦
- ✓ 採用者数はメイテックで、期初予想比▲34名の156名、メイテックフィルダーズで同比+32名の137名

### 新卒採用(2016年4月入社)

- ✓ 新卒世代の傾向を念頭に置きつつ、採用基準の保持を前提に活動
- ✓ 求人企業数・募集人員増に加え、活動の早期化など、採用環境は極めて厳しく、特に地元就職環境の変化は、メイテックフィルダーズへの影響大
- ✓ 採用者数はメイテックで、期初予想比+28名の338名、メイテックフィルダーズで同比▲8名の182名

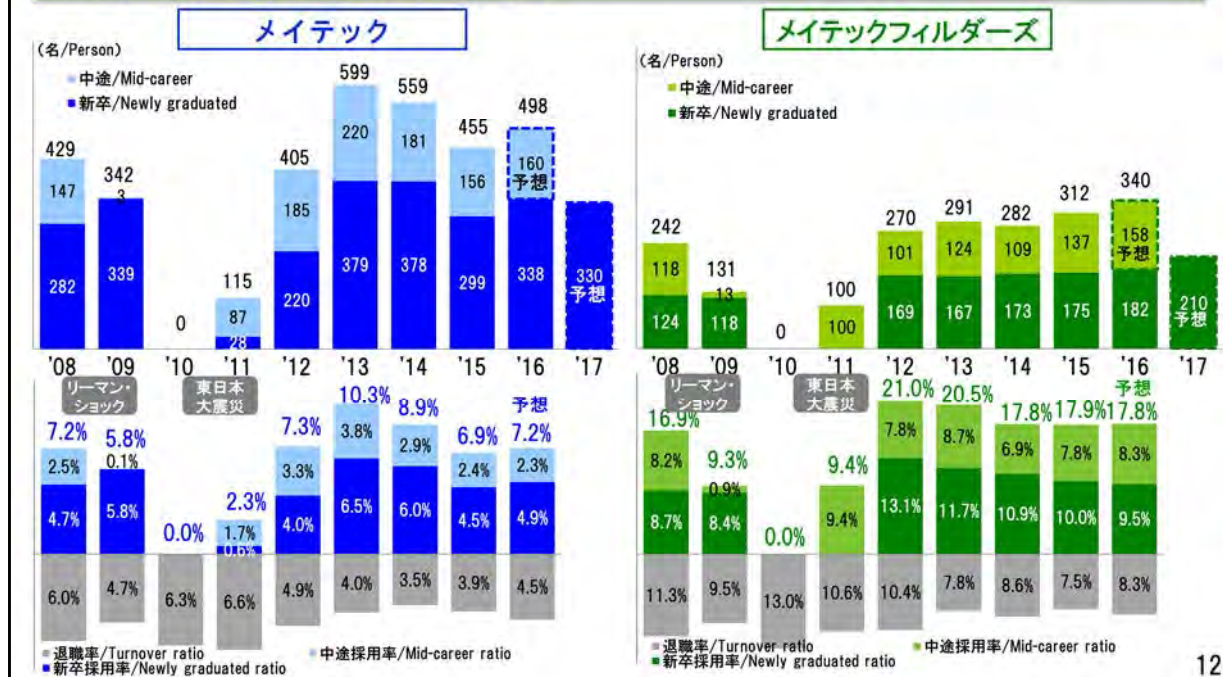
(名)	2016年3月期(2015年度)						2017年3月期(2016年度)					
	15年4月入社 新卒採用数	中途採用数			採用数 合計	前期比	16年4月入社新卒採用数					
		期初予想		期初予想比			期初予想	11/5公表 内定見込数		期初予想比	前期比	
メイテック	299	190	156	▲34	455	▲104	310	332	338	+28	+39	
メイテック フィルダーズ	175	105	137	+32	312	+30	190	173	182	▲8	+7	
合計	474	295	293	▲2	767	▲74	500	505	520	+20	+46	
15年3月期比	▲77	+5	+3		▲74			11/5公表比	+15			

11

- 2016年3月期の採用実績です。
- エンジニア採用市場の採用意欲は高止まりしており、採用環境はさらに激化しています。
- まず、中途採用です。大手メーカーと採用競合となるメイテックの中途採用は採用基準を保持した為、応募者確保に苦戦し、期初予想比▲34名の156名となりました。
- 一方、メイテックフィルダーズは、応募者確保の工夫など様々な施策が功を奏し、期初予想比+32名の137名となりました。
- 結果、極めて厳しい環境の中、グループ全体では293名の採用実績でした。
- 次に、新卒採用です。企業求人数の増加、採用活動の早期化の影響により、こちらも極めて厳しい環境でしたが、新卒世代の傾向を念頭に置いた様々な施策が功を奏し、また、内定者数を公表した10月以降も採用者数を積み上げ、メイテックは期初予想比+28名の338名、メイテックフィルダーズは同比▲8名の182名、グループ全体では520名の採用実績でした。

## 採用と退職

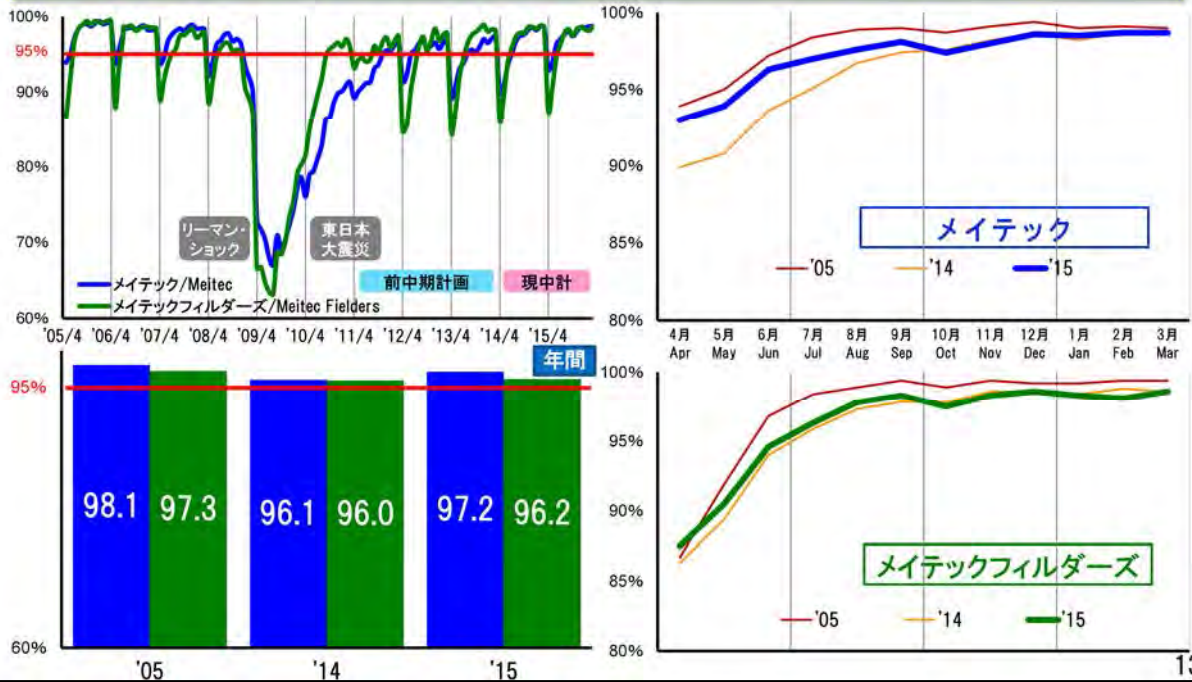
- ✓ 採用環境は厳しいが、採用基準は保持
- ✓ 退職率も低い水準を維持⇒増員に寄与



- 採用者の人数と採用率・退職率の推移です。
- 2015年度の実績は、MEITECの採用環境が特に厳しい中で採用基準を保持した為、採用率は6.9%に低下しましたが、退職率は3.9%と引き続き低い水準でした。結果、増員は進んだものの、伸び率が低下しており、大きな課題と認識しています。
- 一方、MEITEC フィルダースは、採用率17.9%、退職率7.5%に低下し、前年度と同様、順調に増員できました。
- 2016年度の予想は、のちほど説明します。

# 稼働率

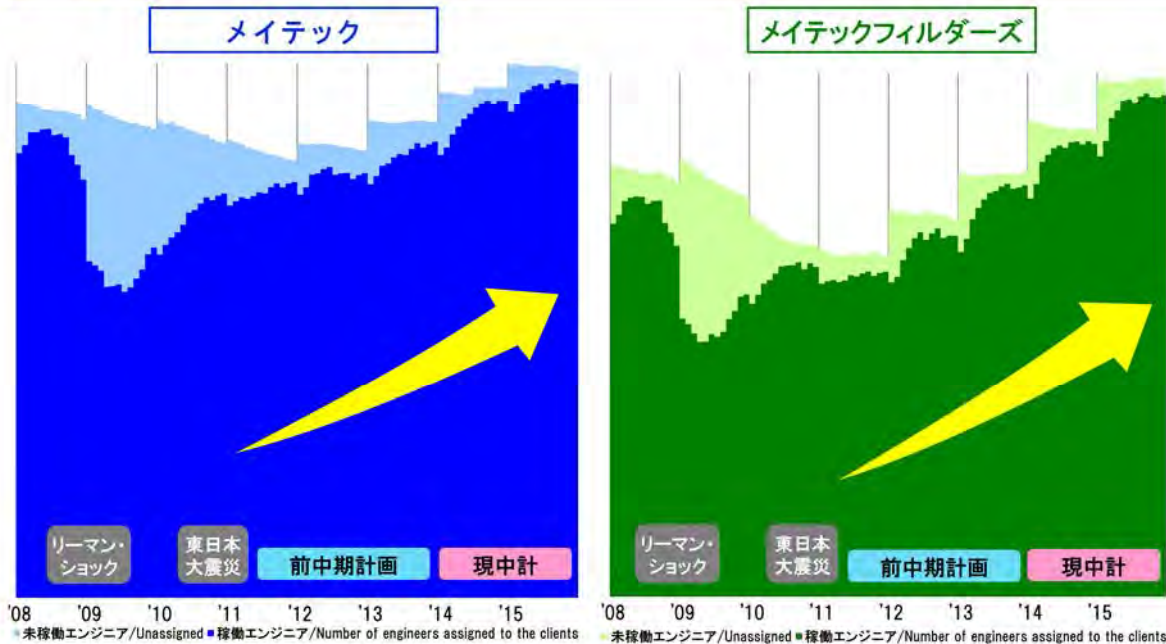
✓ 堅調な受注環境の下、配属が順調に進み、稼働率は高水準



- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に、堅調な受注環境の下、新卒・既存ともエンジニア社員の配属が順調に進められました。

## 稼働人員数(売上の主要素)

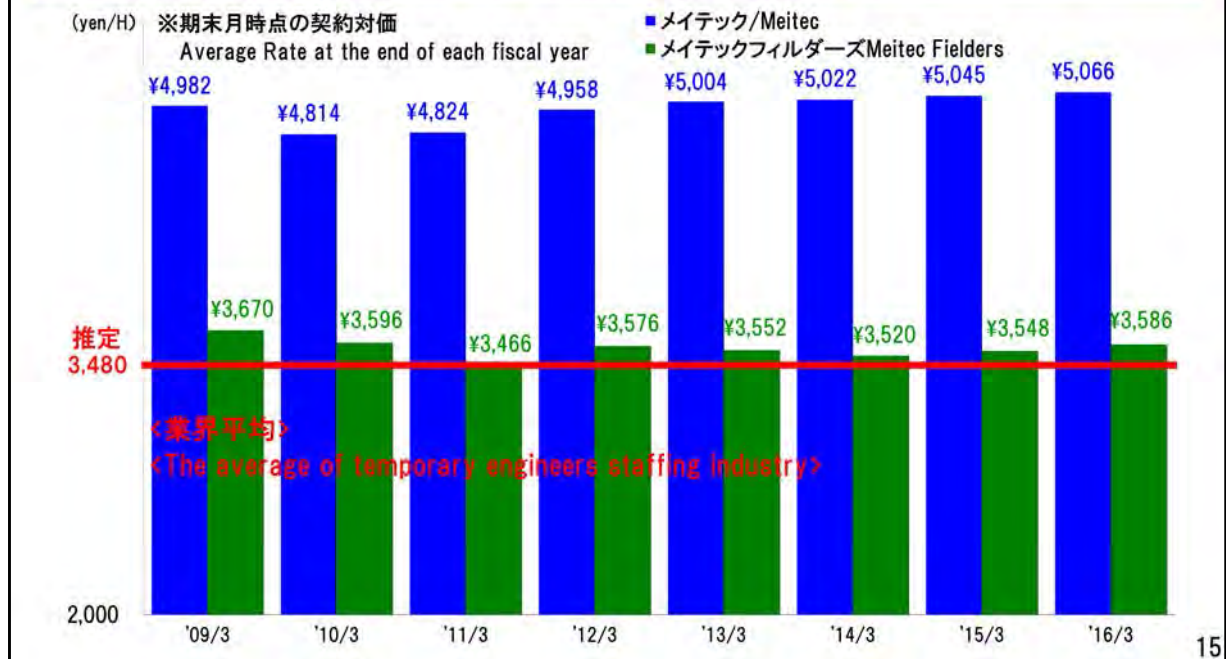
- ✓ 積極採用による「エンジニア社員数の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長



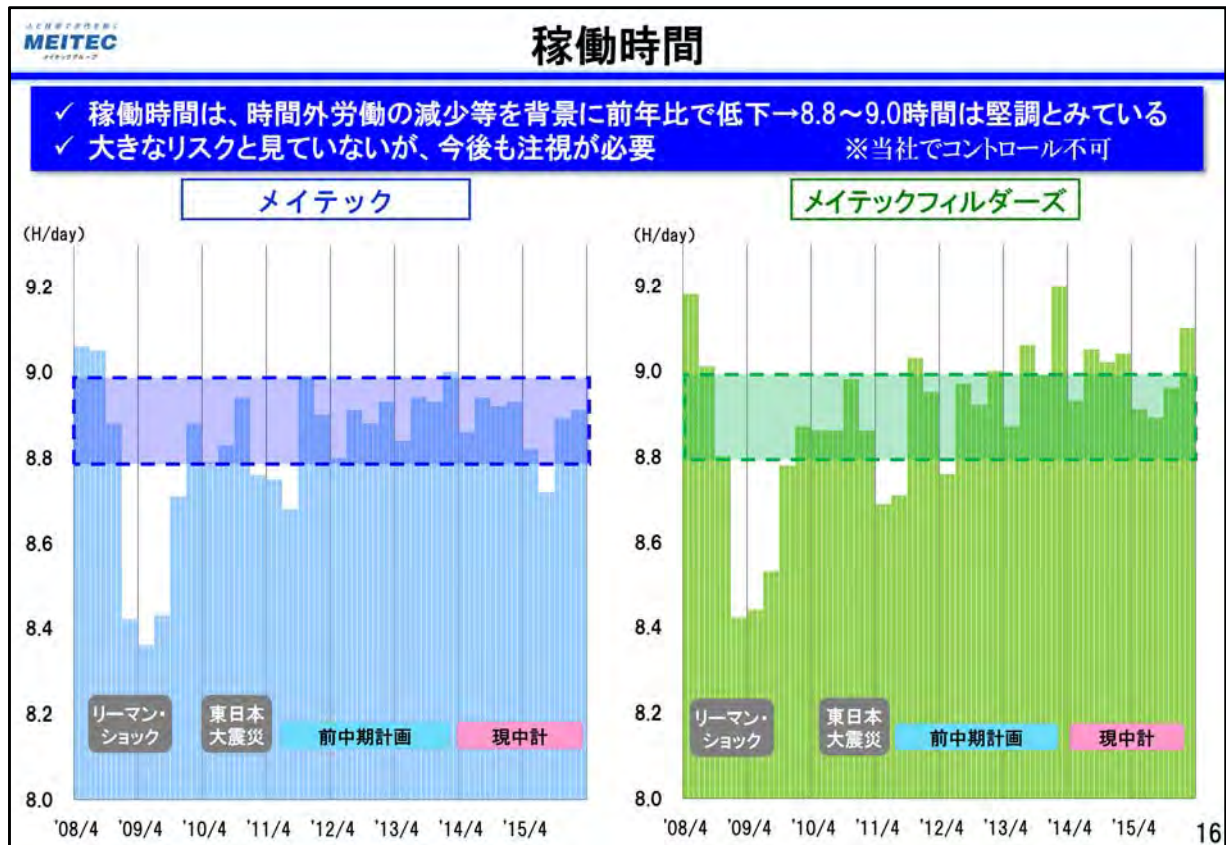
- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員数の増員」×「高い稼働率の維持」が達成できたため、稼働人員数は順調に伸びています。
- 今後も継続して、エンジニアのキャリアアップにつながる受注案件を獲得し、戦略的にローテーションを図りつつ、早期配属に努めます。

## 対価・単価(・レート)=[市場価値]

✓ エンジニア一人ひとりがアウトプットの価値を高め、お客さまに価値を理解して頂く  
 → 市場価値に基づく「適正対価の獲得」を継続して努めていきます

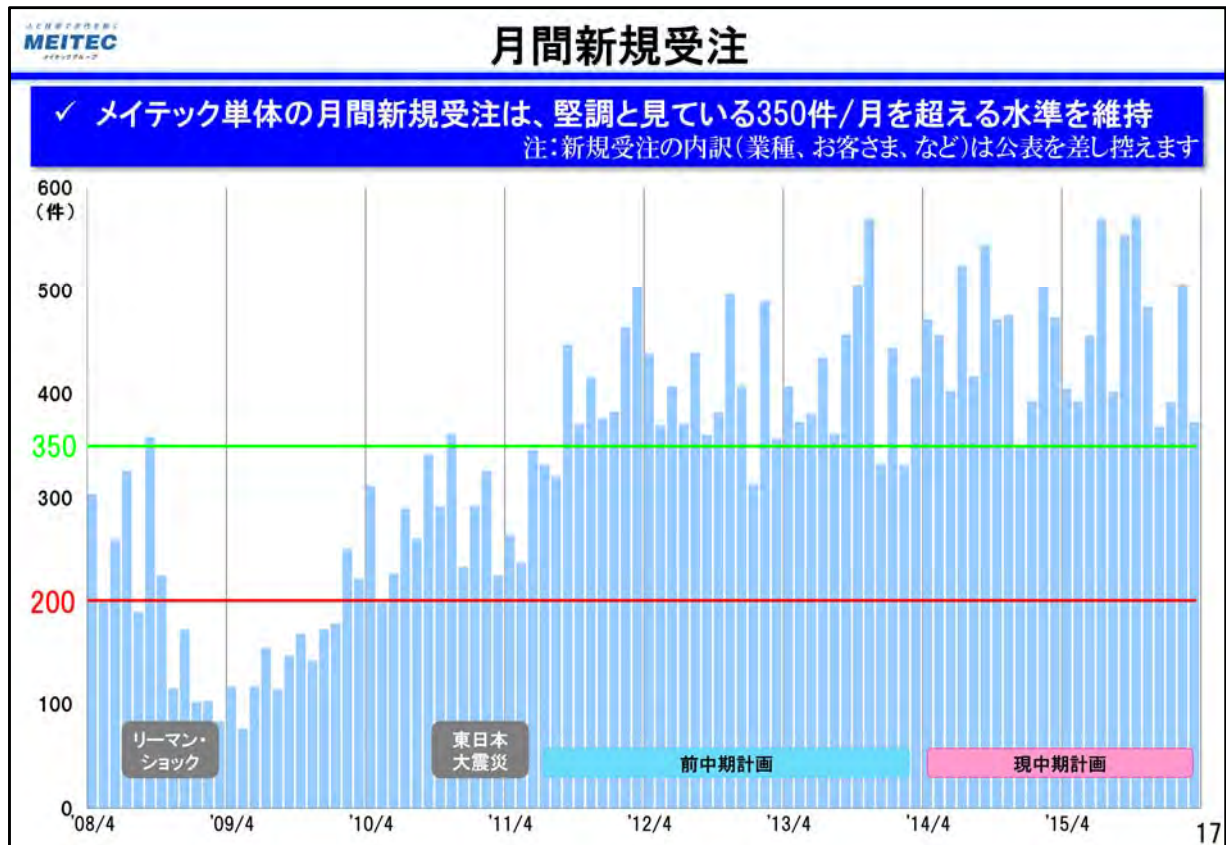


- 対価・単価の推移です。
- リーディングカンパニーとして、高い品質を維持することで、メイテックの対価は業界平均を大きく超える5,000円レベルを維持しています。  
これを維持するためには、採用基準の保持は不可避と考えています。
- メイテックフィルダーズの対価も業界平均よりやや高めの3,500円レベルを維持しています。
- これからも需要と供給の関係に流される事無く、エンジニア一人ひとりが、高い市場価値をお客さまに訴求し、確実にアウトプットを出し続けられる環境を拡大し続けることで、確実に対価を獲得できる状態、「適正対価の獲得」に努めていきます。



- 稼働時間の推移です。
- 稼働時間の0.1時間は売上高の約1%に該当しますので、業績影響の大きい指標の一つであることから、引き続き注視していきます。
- しかし、稼働時間は、お客さま先の業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能です。
- 網掛け部分の8.8~9.0時間で推移していると堅調と見ていますが、2Qの稼働時間が時間外労働の減少等で大きく低下しました。
- 下半期は若干持ち直したものの、前期比では低下しました。

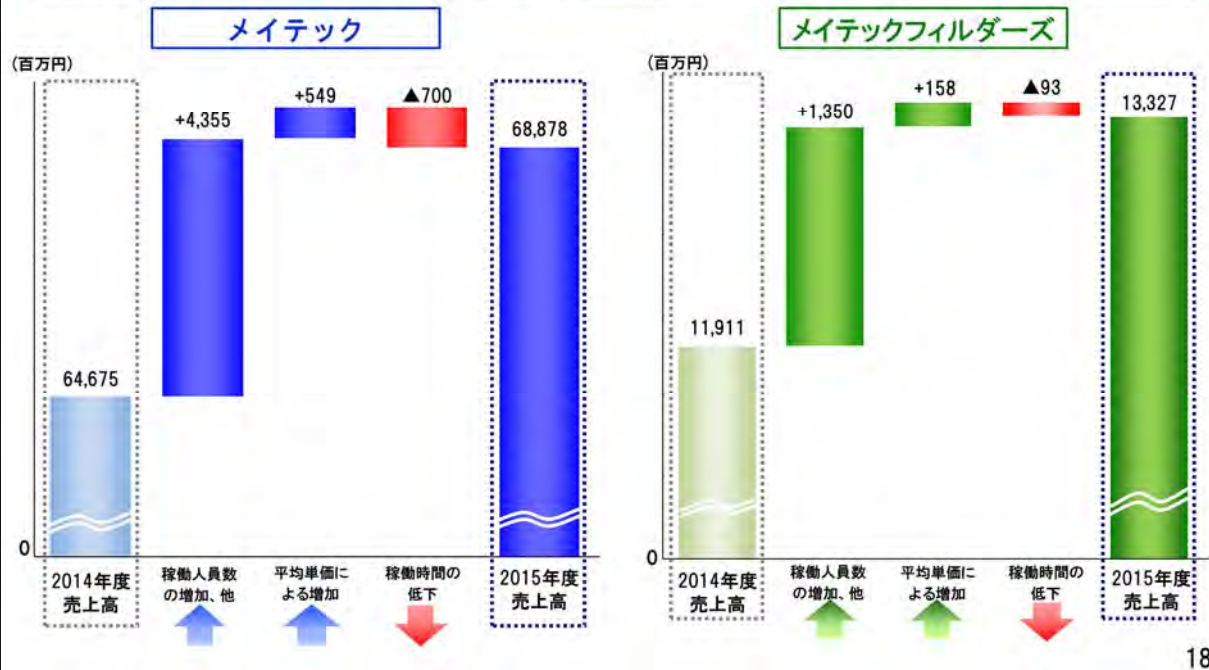




- 月間新規受注動向の推移です。
- 月間350件を超える新規受注件数であれば堅調、200件を下回る水準は危険、と判断してきました。
- 足元は製造業のお客さまが長い視点で技術開発投資を進められているため、月350件を超える水準を維持しており、堅調に推移していると認識しています。

## 売上高前年同期比較

- ✓ 前年同期比で増収の主要因は「稼働人員数の増加」で、その影響は以下の通り
- ✓ なお、稼働時間の低下による減収影響は以下の通り



- メイテック、メイテックフィルダーズの売上高の増減内訳です。
- 両社ともに増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」になります。
- また、先ほど説明しました「稼働時間の低下」による減収の影響額は記載の通りです。

## お客さまの売上高TOP10

✓ メイテック単体のお客さまの売上高TOP10は以下の通りです

注: 具体的計数の公表は差し控えます

(百万円)

2011年3月期 (2010年度)			2015年3月期 (2014年度)			2016年3月期 (2015年度)		
1	パナソニック 様		1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様	
2	三菱重工業 様		2	キヤノン 様		2	キヤノン 様	
3	キヤノン 様		3	デンソー 様		3	デンソー 様	
4	ニコン 様		4	パナソニック 様		4	パナソニック 様	
5	デンソー 様		5	トヨタ自動車 様		5	トヨタ自動車 様	
6	トヨタ自動車 様		6	ニコン 様		6	ニコン 様	
7	ソニー 様		7	川崎重工業 様		7	ソニー 様	
8	川崎重工業 様		8	オムロン 様		8	川崎重工業 様	
9	ダイキン工業 様		9	ソニー 様		9	三菱航空機 様	
10	三菱電機 様		10	東芝 様		10	オムロン 様	
トップ10社合計	15,149	31.4%	トップ10社合計	17,170	26.5%	トップ10社合計	18,040	26.2%
トップ20社合計	19,899	41.2%	トップ20社合計	23,690	36.6%	トップ20社合計	24,867	36.1%
その他	28,360	58.8%	その他	40,984	63.4%	その他	44,011	63.9%
合計	48,260	100.0%	合計	64,675	100.0%	合計	68,878	100.0%

19

- メイテックのお客さまの売上TOP10です。
- TOP10圏内に入るお客さまに大きな変化は見られません。
- 成長セクターや新しい技術領域へ意識的にローテーションできる環境の拡大に努め、  
特定のお客様に偏(かたよ)らず幅広くサービスを展開することが、メイテックの強みを、より強くするために必要不可欠です。

## 業種別の売上高

✓ メイテック単体の業種別の売上高は以下の通りです。

注：計数は「ご参考資料」に掲載。お客さま別内訳や見通しは公表を差し控えます。



20

- 業種別の売上高推移です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」「産業用機器関連」の伸びが顕著です。
- グラフで示したとおり、広い業種や分野のお客さまと取引して頂いているからこそ、特定の業種や分野が厳しい状況にあっても、意図的にエンジニアを他の業界や分野にシフトすることを可能としています。

## 特別損益の概要

- ✓ 2014年10月、維持費用の負担軽減及び将来の費用増加リスク削減を狙い、大型研修施設等、4物件を利用停止  
→2016年3月期に4物件をすべて売却完了し、約10億円の売却益を計上



(百万円)	2014年10月 減損損失	売却益
大型研修施設関連	△3,456	約10億円
① 神戸テクノセンター	△1,895	
② 厚木テクノセンター社員寮	△589	
③ 日進テクノセンター	△770	
④ 名古屋テクノセンターほかのうち 名古屋EOC・メカトロC	△202	

1992年4月開設  
神戸  
テクノセンター



1985年7月開設  
名古屋EOC・  
メカトロC



1997年3月開設  
日進  
テクノセンター



1993年3月開設  
厚木テクノセンター  
社員寮



- 特別損益(そんえき)の概要です。
- 2014年10月に大型研修施設など4物件の利用を停止し、約35億円の減損損失を計上しました。
- 2016年3月期には4物件すべての売却が完了し、約10億円の売却益を計上しました。



## 2. 中期経営計画の進捗

2014年度  
(1年目実績)



2015年度  
(2年目実績)



2016年度  
(3年目予想)

人と技術で次代を拓く  
**MEITEC**  
メイテックグループ

- 次に、中期経営計画の進捗について説明します。

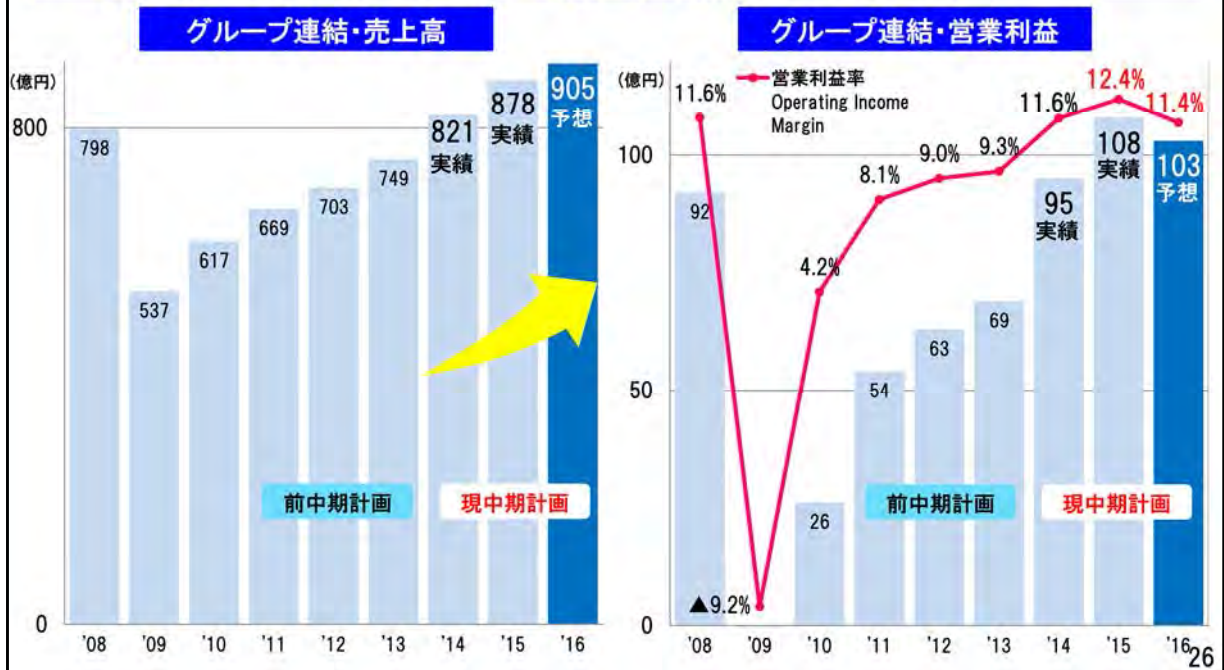
✓ 計画2年目の2015年度の実績は、計画3年目の目標値にほぼ到達したものの、2016年度の業績予想の通り、課題が残っている状況

	中期経営計画 (当初目標)	2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (業績予想)
<b>グループ連結</b>				
売上高	880億円	821億円	878億円	905億円
営業利益	100億円	95億円	108億円	103億円
営業利益率	12%以上	11.6%	12.4%	11.4%
当期純利益	60億円	36億円	80億円	70億円
ROE	15%以上	9.9%	21.5%	18.7%
<b>メイテック</b>				
売上高	680億円	646億円	688億円	702億円
営業利益	85億円	79億円	90億円	85億円
営業利益率	13%以上	12.3%	13.2%	12.1%
<b>メイテックフィルダース</b>				
売上高	135億円	119億円	133億円	142億円
営業利益	13億円	10億円	12億円	12億円
営業利益率	9.5%程度	9.0%	9.0%	8.5%

25

- 2015年度の実績は、中期計画3年目の目標値にほぼ到達しましたが、2016年度の予想では営業利益率に課題が残っている状況です。
- なお、今期業績予想の詳細および前提条件については、のちほど説明します。

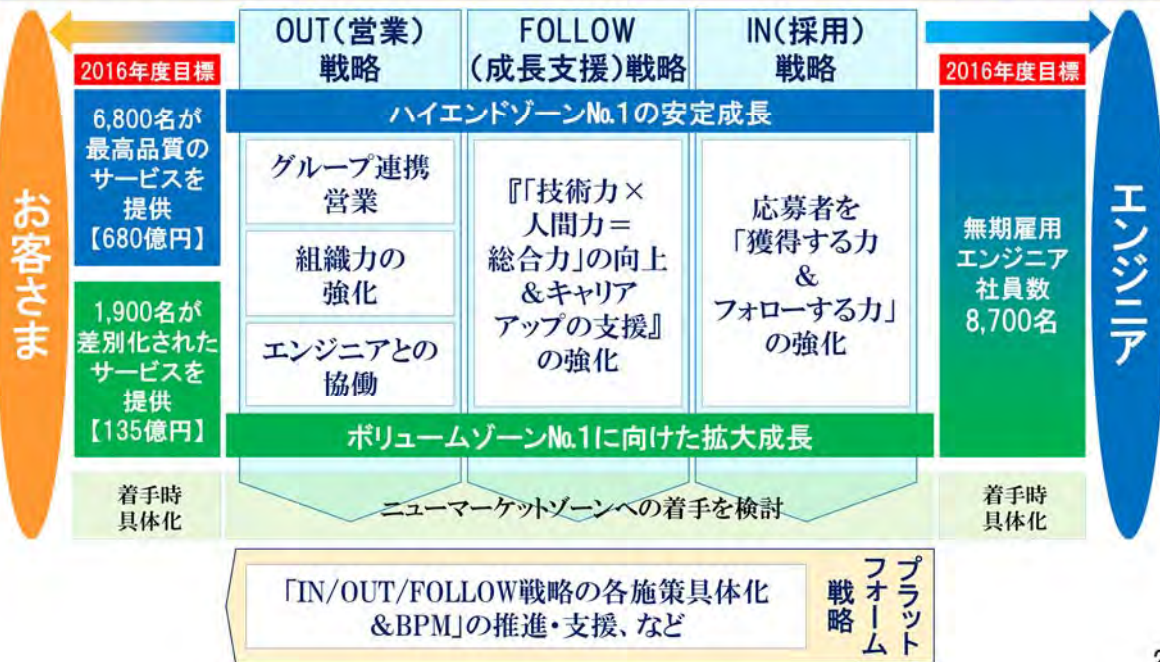
✓ 計画3年目の2016年度の業績予想：  
売上高は過去最高の905億円、営業利益は前期比減益の103億円



- 中期計画3年目の売上高、営業利益、営業利益率の水準はグラフの通りです。
- 売上高は過去最高の905億円を予想しますが、営業利益は減益の103億円を予想しています。



✓ エンジニア派遣事業で、強みの『最大・最高の「機会と場」』をより一層拡大へ  
→4つの戦略(IN・OUT・FOLLOW・プラットフォーム)が一体となって、2つのサービス提供先への価値を向上



- スタート時点のエンジニア派遣事業の戦略・施策を再掲しています。

		2期目の進捗
IN(採用) 戦略	応募者を 「獲得する力&フォローする力」 の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 3部門協働も含め学校関係強化に注力</li> <li>✓ 顧客受注を活用する選考方法に改善</li> </ul>
OUT(営業) 戦略	グループ連携営業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ グループ・ターゲット顧客を設定し、 連携営業を推進</li> </ul>
	組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ エリア別トライアルテーマを開始</li> </ul>
	エンジニアとの協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ エンジニア主導の活動と、営業とエンジニアが協働する営業との連携を拡充</li> </ul>
FOLLOW (成長支援) 戦略	『「技術力×人間力=総合力」の向上 &キャリアアップの支援』 の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 支援ツールの見直しとブラッシュアップ</li> <li>✓ グループ研修の拡充</li> </ul>

- 中期計画2年目のエンジニア派遣事業の進捗は、IN:採用、OUT:営業、FOLLOW:成長支援の3つの部門が協働し、戦略を有機的に結びつけながら、着実に実行しています。

✓エンジニア紹介事業で、強みの「エンジニア専門転職支援 総合満足度No1」を磨き一層拡大へ  
✓今回の中期計画では、エンジニア紹介事業の中でグローバル展開を検討

エンジニア専門転職支援  
総合満足度5年連続No1

モノづくり系エンジニア  
の転職に専門特化

業界最大級の求人数  
(常時10,000件以上)

技術に精通した専門の  
コンサルタントが支援

※2016年3月末現在  
(本戦略および目標は変更なし)



※上記「2016年度目標」には、メイテックキャストにおける紹介業務の目標値を含む

- スタート時点のエンジニア紹介事業の戦略・施策の再掲になります。

		2期目の進捗
お客さま 向けの戦略	エンジニア紹介の強化 (求人数拡大&求職者拡大)	✓ 新たに理系新卒学生専門の 職業紹介事業(理系就活チャージ)を 2016年3月1日より開始
エンジニア 向けの戦略		
お客さま 向けの戦略	グローバルな選択肢の拡大 (人材紹介&働き方の提案)	✓ 集客方法を見直し、中国と日本で 相互紹介する仕組みを整備
エンジニア 向けの戦略		
お客さま 向けの戦略	高年齢エンジニアの選択肢の拡大 (人材紹介&働き方の提案)	✓ 活用する媒体の見直しによって、 高年齢エンジニアの決定数が拡大
エンジニア 向けの戦略		

- 紹介事業は、メイテックネクストがメインで担っており、新たに理系学生専門の職業紹介事業を開始するなど、エンジニア紹介の強化に努め、更なる拡大を目指していきます。

### 3. 2017年3月期 業績予想



- 2017年3月期の業績予想について説明します。

## 2017年3月期業績予想 グループ連結

- ✓ 売上高は前期比+3.0%の905億円(過去最高)、営業利益は同比▲5.3%の103億円  
→ 原価が同比+3.5%、販売管理費が同比+7.7%の影響→次頁以降で個社毎に説明
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期の約10億円の特別利益が消失する為、  
前期比▲13.4%の70億円 → 但し、中期計画3年目の目標60億円を超える水準

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	90,500	+2,611	+3.0%	43,800	+1,656	+3.9%	46,700
売上原価	66,900	+2,238	+3.5%	32,700	+1,378	+4.4%	34,200
販売管理費	13,300	+947	+7.7%	6,500	+422	+7.0%	6,800
営業利益	10,300	▲574	▲5.3%	4,600	▲144	▲3.0%	5,700
営業利益率	11.4%	▲1.0%		10.5%	▲0.8%		12.2%
経常利益	10,300	▲545	▲5.0%	4,600	▲123	▲2.6%	5,700
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000	▲1,083	▲13.4%	3,000	▲798	▲21.0%	4,000
1株当たり当期純利益(EPS)	238.39	▲30.85		102.17	▲23.26		

32

- グループ連結の業績予想です。
- 売上高は前期比3.0%増収、過去最高の905億円、営業利益は前期比5.3%減益の103億円としました。営業利益が前期比で減少していますが、これは、原価と販管費の増加を見込んでいるためです。
- なお、当期純利益の予想は、前年度の特別利益が消失するため、前期比13.4%減益の70億円としましたが、中期計画3年目の目標:60億円を超えるレベルである事を付け加えます。

## 2017年3月期業績予想 メイテック

✓ 売上高は前期比+1.9%の702億円(過去最高)、営業利益は同比▲6.2%の85億円  
→原価増加はエンジニア社員数の増加、販売管理費はシステム費用と税負担の増加

メイテック (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	70,200	+1,321	+1.9%	34,000	+868	+2.6%	36,200
売上原価	52,200	+1,315	+2.6%	25,500	+741	+3.0%	26,700
原価率	74.4%	+0.5%		75.0%	+0.3%		73.8%
販売管理費	9,500	+567	+6.4%	4,700	+255	+5.7%	4,800
営業利益	8,500	▲561	▲6.2%	3,800	▲127	▲3.3%	4,700
営業利益率	12.1%	▲1.1%		11.2%	▲0.7%		13.0%
経常利益	9,000	▲526	▲5.5%	4,300	▲95	▲2.2%	4,700
当期純利益	6,300	▲1,091	▲14.8%	3,000	▲749	▲20.0%	3,300
稼働率(全体)	96.7%	▲0.5%		95.6%	▲0.4%		97.8%
稼働時間<h/day>	8.83	—		8.77	—		8.90
採用数<名>	498	+43					
新卒採用数	338	+39					
中途採用数	160	+4					
退職率	4.5%	+0.6%					
				2017年4月入社の 新卒採用目標数	16年4月 実績比		
				330	▲8		

33

- メイテック単体の業績予想です。
- 売上高は、前期比+1.9%増収、過去最高の702億円、営業利益は前期比▲6.2%減益の85億円を予想します。
- 営業利益を減益予想とした要因は、原価と販管費の増加です。
- 原価の増加は、エンジニア社員数の増加影響が主因です。
- 原価率の上昇は稼働率見通しの影響が主因です。
- 稼働率は前期比▲0.5%減少していますが、前期が非常に高かった事が主因です。従来同様、稼働率向上のみに注目した稼働・配属は行いません。  
新入社員には必要十分な研修を受講させます。
- 販管費の増加は、システム関連費用と外形標準課税の増加などです。なお、システム関連費用の増加は、現存システムの更改が主な要因です。
- 当期純利益は、前期に計上した約10億円の特別利益の影響がなくなるため、前期比▲14.8%減益の63億円としました。

## 2017年3月期業績予想 メイテックフィルダーズ

✓ 売上高は前期比+6.5%の142億円(過去最高)、営業利益は同比▲0.4%の12億円  
→原価増加はエンジニア社員数の増加、販売管理費は採用数の増加に伴う費用増加

メイテックフィルダーズ (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	14,200	+872	+6.5%	6,800	+413	+6.5%	7,400
売上原価	11,000	+711	+6.9%	5,300	+334	+6.7%	5,700
原価率	77.5%	+0.3%		77.9%	+0.2%		77.0%
販売管理費	2,000	+165	+9.0%	940	+66	+7.6%	1,060
営業利益	1,200	▲4	▲0.4%	560	+12	+2.3%	640
営業利益率	8.5%	▲0.5%		8.2%	▲0.4%		8.6%
経常利益	1,200	▲5	▲0.5%	560	+11	+2.2%	640
当期純利益	800	+13	+1.8%	380	+30	+8.7%	420
稼働率(全体)	94.9%	▲1.3%		92.8%	▲1.4%		96.9%
稼働時間<h/day>	8.96	▲0.01		8.89	▲0.01		9.03
採用数<名>	340	+28					
新卒採用数	182	+7		2017年4月入社の 新卒採用目標数	16年4月 実績比		
中途採用数	158	+21					
退職率	8.3%	+0.8%		210	+28		

34

- メイテックフィルダーズの業績予想です。
- メイテック同様、売上高は過去最高の142億円を見込みます。
- 営業利益は前期比▲0.4%減益の12億円、営業利益率は前期比▲0.5%減少を予想しています。
- これもメイテック同様、原価の増加と販管費の増加を見込んでいます。
- 原価の増加は、エンジニア社員数の増加影響が主因です。
- 原価率の上昇は稼働率見通しの影響が主因です。
- 稼働率は前期比▲1.3%減少していますが、採用数を前期より増やす事が主因です。
- 販管費は、採用数の更なる増加計画に基づく採用費の増加によるものです。
- 当期純利益は前期比+1.8%増益の8億円を見込んでいます。



## 2017年3月期の採用目標

### 中途採用(2017年3月期)

- メーカーへの転職希望者の決定数は継続して増加しており、企業の求人ニーズに衰えはみられない  
⇒転職市場は活況
- ✓引き続き、採用基準を保持した上で、機械系・電気電子系を中心に、効率的な採用活動へ改善中  
→ 紹介会社との連携強化  
→ 成長意欲を重視した、対象範囲拡大検証

### 新卒採用(2017年4月入社)

- 求人企業数、採用計画数は昨年比2桁の伸び(2年連続)と厳しい競争環境
- 就活スケジュール早期・短期化に伴う不安感あり
- ✓生涯プロエンジニアに至る具体的なキャリアパスを理解してもらうことに注力
- ✓成長意欲を重視し、対象範囲拡大検証  
⇒更なる採用数の上積み注力  
※設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わる人材派遣中心のため、採用基準は下げられない

(名)	2017年3月期					2018年3月期	
	16年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		17年4月入社 新卒採用数 (目標)	前期比
		〈目標〉	前期比	〈目標〉	前期比		
メイテック	338	160	+4	498	+43	330	▲8
メイテック フィルダーズ	182	158	+21	340	+28	210	+28
合計	520	318	+25	838	+71	540	+20

35

- 2017年3月期の採用目標についてです。
- 採用環境は、エンジニアの人材不足から企業の求人意欲はますます上昇し、市場の採用ニーズはまったく衰えないことから、非常に厳しい環境が継続すると予想しています。
- このような状況の中、2017年4月入社の新卒採用目標は、メイテック、メイテックフィルダーズあわせて540名としました。
- 中期計画の新卒採用：年間目標575名より低い水準ですが、新聞記事の新卒採用計画を見ると、日本企業全体では40番、理工系学生だけでは3番目の規模であり、かなり大きな水準と認識しています。
- また、中途採用目標は、応募者確保が非常に難しい局面が続くことを想定して、前期比+25名を見込んでいます。
- メイテック、メイテックフィルダーズとも、設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わる人材派遣が中心となるため、厳しい採用環境であっても従来と変わらず、採用基準を保持する考えです。

## 利益分配に関する基本方針

- ✓ 持続的な成長の実現を通じて、中長期的に株主還元の最大化を目指す
- ✓ 利益分配に関する当社の基本的な考え方は、業績に基づいた成果配分

2011年5月改訂  
利益配分方針

総還元性向

100%以内を原則

配当

業績連動型配当

連結当期純利益の50%以上

最低限の配当

連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の  
取得・  
保有・消却

自己株式の取得

月商3ヶ月分を上回る資金を自己株式取得原資

継続保有：上限2百万株

消却：上限超を消却

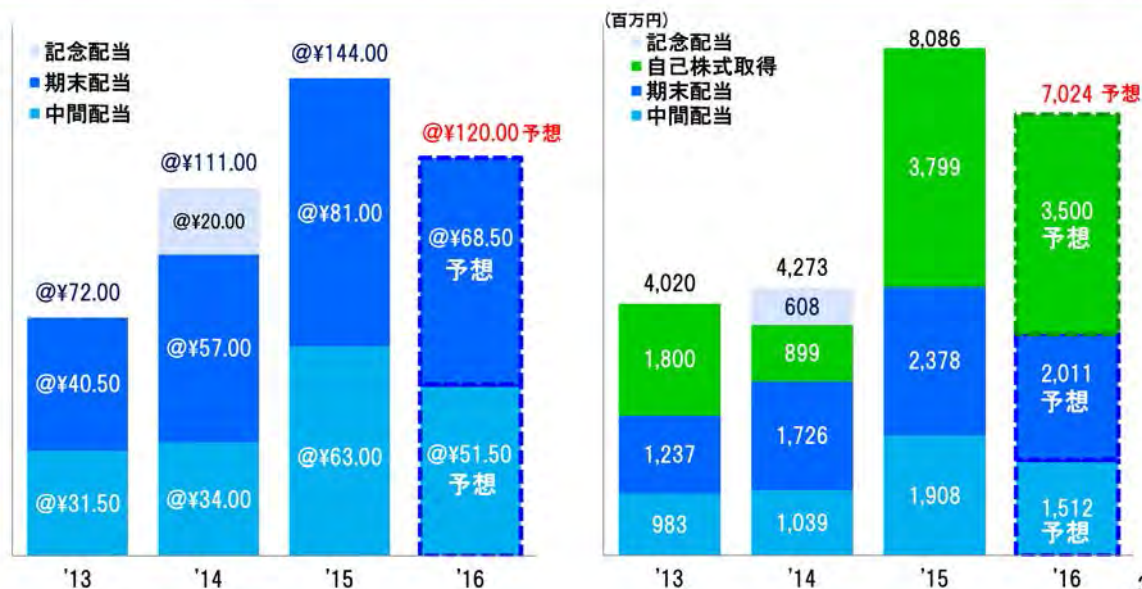
- ✓ 月商3ヶ月分＝「必要運転資金(ワーキングキャピタル):連結売上高の月商2ヶ月」+「財務基盤強化資金(2010年3月期に相当する危機的な市場環境になった際の事業継続資金):連結売上高の月商1ヶ月」
- ✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

36

- 2011年5月に改訂した「利益配分の基本方針」は変更しません。

## 利益配分の実績と予想

- ✓ 2015年度の期末配当は81円、中間配当63円と合わせて年間配当金は144円
- ✓ 2016年度は方針に則した「普通配当(@120円、約35億円)と自己株式取得(35億円)」  
総還元性向100%=(普通配当35億円+自己株式取得額35億円)÷当期純利益予想70億円



- 2015年度の当期純利益が業績予想を上回った為、期末配当は基本方針に従って見直し、公表予想の1株当たり63円から81円へ引き上げ、株主総会へ上程します。  
なお、中間配当63円と併せて年間配当金は144円です。
- 2016年度の予想は基本方針に基づき「普通配当と自己株式取得」とし「総還元性向100%以内」とします。
- 当期純利益の予想70億円に対して、投資家の皆さまとの対話を踏まえて配当と自己株式取得の配分は半々とし、普通配当は約35億円で1株当たり120円、自己株式取得は35億円、合計70億円を予想としました。

## 株主総会への上程議案（概要）

- ✓ 本年6月の定時株主総会への上程議案は、通常議案の期末配当、補欠監査役選任に加えて、下記の2議案を上程予定（詳細は参考資料をご覧ください）

① 資本金及び資本準備金の額の減少

- 主に利益配分方針に沿って取得する自己株式の消却の原資を確保する為  
（従前から自己株式の消却は「その他資本剰余金」を充当）

	減少後	現在	減少する額
資本金	5,000百万円	16,825百万円	▲11,825百万円
資本準備金	1,250百万円	4,210百万円	▲2,960百万円

② 取締役及び監査役の報酬額改定

- 業務執行取締役の業績連動報酬の割合を更に高める為  
➢ 株主総会決議を報酬枠へ変更する為 →但し、個別の固定報酬の開示は継続

	承認後の概要
業績連動役員報酬の額	連結当期純利益×2.5%（旧2.0%）かつ250百万円以内
役員報酬の割合概算	固定：業績連動→CEOは4:6（旧5:5）、取締役は5:5（旧6:4）

38

- 最後に、定時株主総会への上程議案は、通常議案に加えて、資本金と資本準備金の減少、役員報酬の改定、の2つを上程します。
- 資本金と資本準備金の減少は、自己株式の消却原資を確保するためです。  
詳細は、ご参考資料の59ページをご覧ください。
- 役員報酬の改定は、業績連動部分をより一層高めるなどの見直しを図るものです。  
こちらも詳細は、ご参考資料の60ページ、61ページをご覧ください。
- 今後も株主・投資家の皆様との対話を重視し、持続的に成長し続けられる企業グループであり続けることを目指して、努力していきたいと考えております。
- 私からの説明は以上です。  
ご清聴、ありがとうございました。

---

## 4. ご参考資料

---



余白



一社でも多くのお客さまに、  
一人でも多くのエンジニアに、  
メイテックグループを活用いただき、  
感動や喜びを実感できる  
「機会と場」の拡大を目指します。

## メイテックグループの特色

### 1. 正社員エンジニアの派遣業界最大手

〈業界最大の取引 & 業界最高の品質、先駆者〉

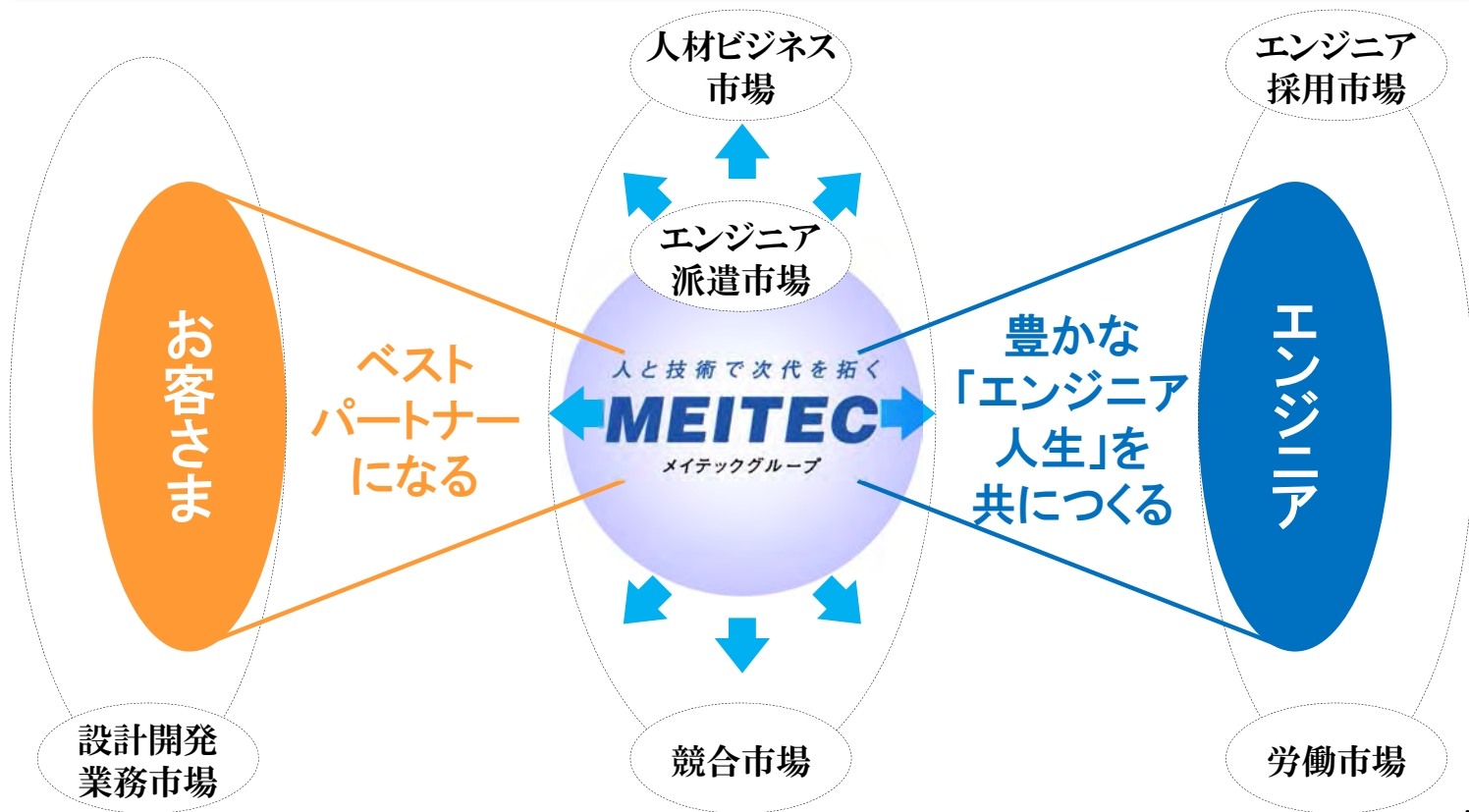
### 2. 日本最大規模の「プロのエンジニア集団」

〈生涯プロエンジニア®を輩出するプラットフォーム〉

### 3. お客さまは、約1,000社の日本の大手製造業

〈創業以来、40年間で、延べ4,000社超〉

✓ 経営理念・コーポレートスローガンの再確認、「目指すべき姿」の見直しを経て、グループによるサービス提供先への提供価値を明文化した事業方針を確定



43

✓ 中期計画のスタートに先立ち、「グループの目指すべき姿」(ビジョン)を見直し → 従前の4つ(社員・顧客・株主・社会)の価値から、下記の5つの価値へ修正

〔経営理念〕  
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕  
人と技術で次代を拓く

**顧客価値**  
すべてのお客さまから信頼される  
ベストパートナーを目指し、  
最適な「人と技術」のサービスを  
提供し続けます

**社会価値**  
生涯プロエンジニアという働き方の  
確立を通じて、日本に  
「プロフェッショナルな労働市場」を  
創り出す先駆者になります

私たちメイテックグループは、  
全社員がつながりあい、  
エンジニア価値を起点として、  
5つの価値を  
持続的に向上させます

**エンジニア価値**  
豊かな「エンジニア人生」を目指す  
すべてのエンジニアに対して、  
最適な「機会と場」を  
提供し続けます

**社員価値**  
「自立と支えあい」に共感し、  
プロフェッショナルとして成長続ける  
社員に対して、最適な「機会と場」を  
提供し続けます

**株主価値**  
持続的な価値向上に基づく  
「健全な利益」を創出し、  
中長期的に株主還元を最大化します

44

# 2016年3月期業績

- ✓ 子会社別の前年実績
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストの売上高営業利益率は30%超

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研 グループ
売上高	68,878	13,327	2,635	68	1,321	133	70	2,005
前期比 増減額	+4,202	+1,416	+110	+15	+189	+15	▲32	+347
前期比 増減率	+6.5%	+11.9%	+4.4%	+28.9%	+16.8%	+13.6%	▲31.7%	+20.9%
営業利益	9,061	1,204	87	△29	433	50	△33	68
前期比 増減額	+1,135	+130	▲10	▲0	+48	+25	+21	+56
前期比 増減率	+14.3%	+12.2%	▲10.7%	—	+12.5%	+101.6%	—	+479.7%
経常利益	9,526	1,205	87	△27	433	50	△38	69
当期純利益	7,391	786	54	△27	288	44	△41	67

45

# 2017年3月期業績予想

- ✓ 子会社別の業績予想
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストは前期比+21.1%の増収を計画

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研
売上高	70,200	14,200	2,700	110	1,600	120	100	1,900
前期比 増減額	+1,321	+872	+64	+41	+278	▲13	+29	▲105
前期比 増減率	+1.9%	+6.5%	+2.5%	+59.5%	+21.1%	▲9.9%	+42.7%	▲5.2%
営業利益	8,500	1,200	90	△30	460	10	0	40
前期比 増減額	▲561	▲4	+2	—	+26	▲40	+33	▲28
前期比 増減率	▲6.2%	▲0.4%	+3.0%	—	+6.1%	▲80.4%	—	▲41.8%
経常利益	9,000	1,200	90	△30	460	10	0	40
当期純利益	6,300	800	60	△30	300	10	0	30

46



# 業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	10,463	12,069	13,831	16,446	18,266	26.5%	+1,820	+11.1%
航空機・ロケット関連	4,006	4,402	4,825	5,265	5,629	8.2%	+363	+6.9%
産業用機器、機械器具および装置関連	8,073	8,205	8,477	9,631	10,215	14.8%	+584	+6.1%
精密機器関連	3,608	4,041	4,599	4,762	4,982	7.2%	+220	+4.6%
情報通信機器関連	5,241	5,114	5,248	5,204	4,872	7.1%	△ 332	△6.4%
電気・電子機器、電気機械器具設計	8,586	8,532	7,990	8,032	8,270	12.0%	+237	+3.0%
半導体・集積回路関連	3,197	3,424	3,622	4,104	4,280	6.2%	+176	+4.3%
半導体製造装置関連	1,807	1,844	1,837	1,792	1,919	2.8%	+127	+7.1%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	3,925	3,886	3,887	4,365	4,886	7.1%	+521	+11.9%
プラント関連	1,471	1,563	1,611	1,903	2,346	3.4%	+442	+23.3%
建築関連	273	325	371	368	374	0.5%	+5	+1.6%
その他	2,532	2,412	2,572	2,797	2,834	4.1%	+36	+1.3%
合計	53,188	55,822	58,876	64,675	68,878	100.0%	+4,202	+6.5%

47

# 業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

(百万円)

メイテックフィルダース	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	2,044	2,662	3,349	4,241	4,981	37.4%	+740	+17.5%
航空機・ロケット関連	109	152	200	207	251	1.9%	+44	+21.3%
産業用機器、機械器具および装置関連	1,144	1,254	1,509	1,770	1,929	14.5%	+159	+9.0%
精密機器関連	1,141	1,300	1,609	1,625	1,666	12.5%	+41	+2.6%
情報通信機器関連	324	326	378	397	452	3.4%	+54	+13.7%
電気・電子機器、電気機械器具設計	1,764	1,682	1,508	1,568	1,656	12.4%	+87	+5.6%
半導体・集積回路関連	647	532	437	457	505	3.8%	+47	+10.5%
半導体製造装置関連	536	414	455	403	536	4.0%	+132	+33.0%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	90	166	261	342	341	2.6%	+0	△0.2%
プラント関連	147	225	287	389	473	3.6%	+84	+21.6%
建築関連	18	97	98	26	16	0.1%	△ 10	△37.5%
その他	541	534	491	481	515	3.9%	+34	+7.2%
合計	8,510	9,349	10,587	11,911	13,327	100.0%	+1,416	+11.9%

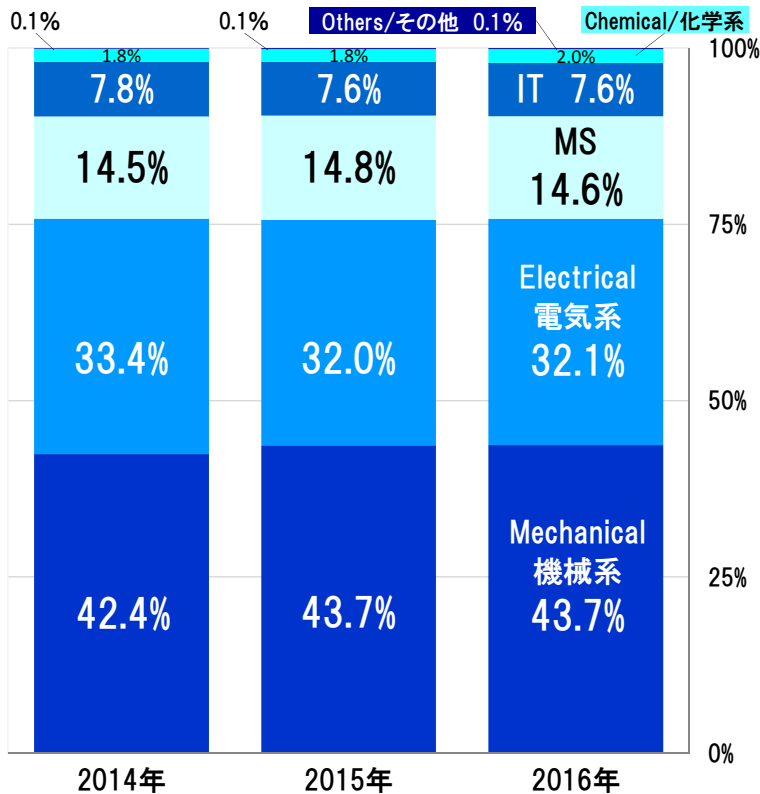
48

# メイテックエンジニアの構成

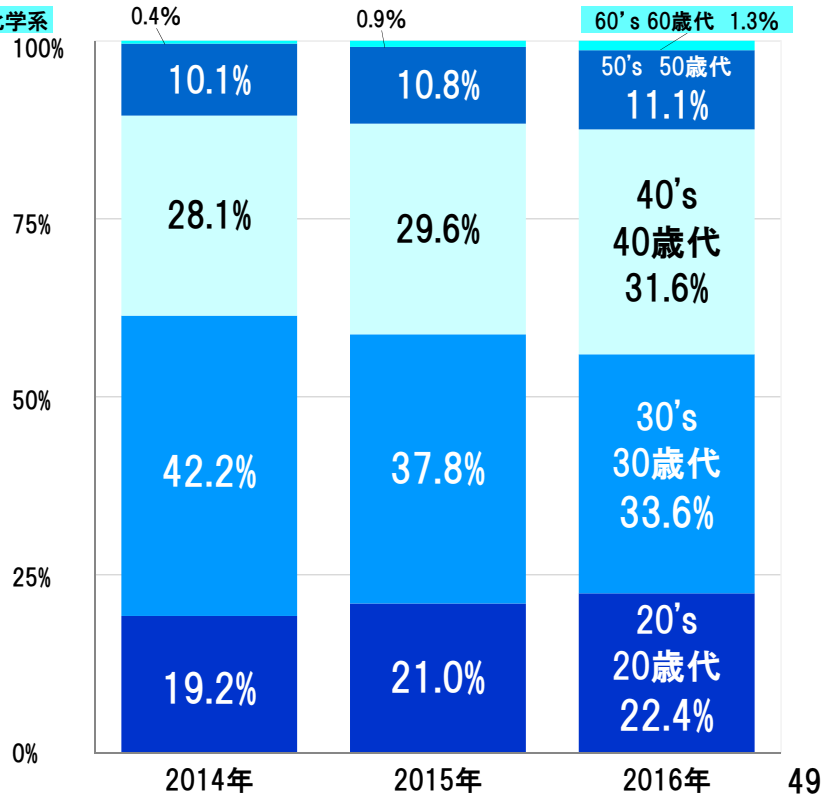
3月末現在

✓ メイテック・エンジニアの技術分野は、機械系、電気系エンジニアで7割超

技術分野/Technical field



年齢/According to age

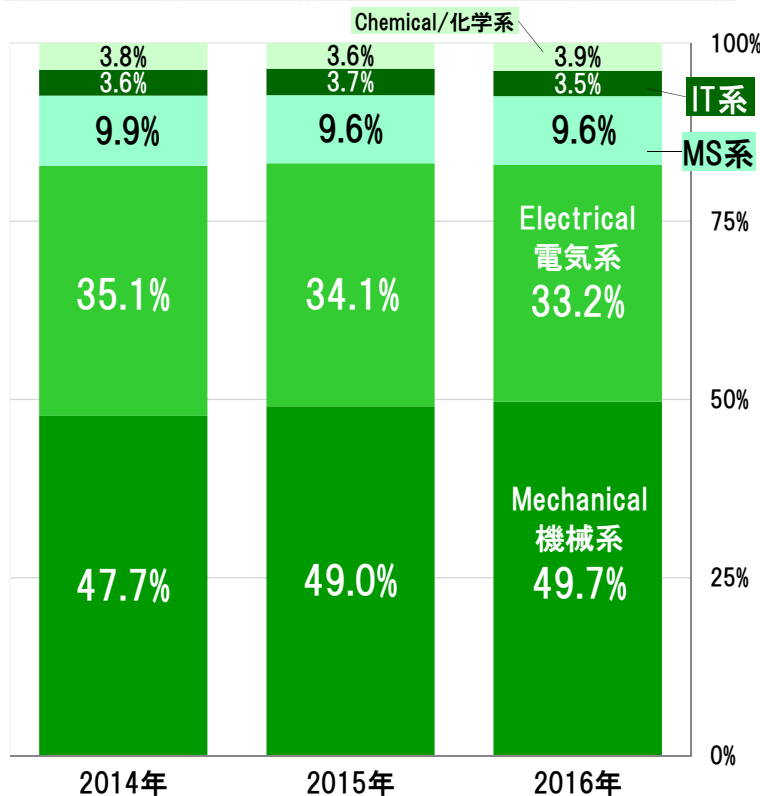


# メイテックフィルダーズエンジニアの構成

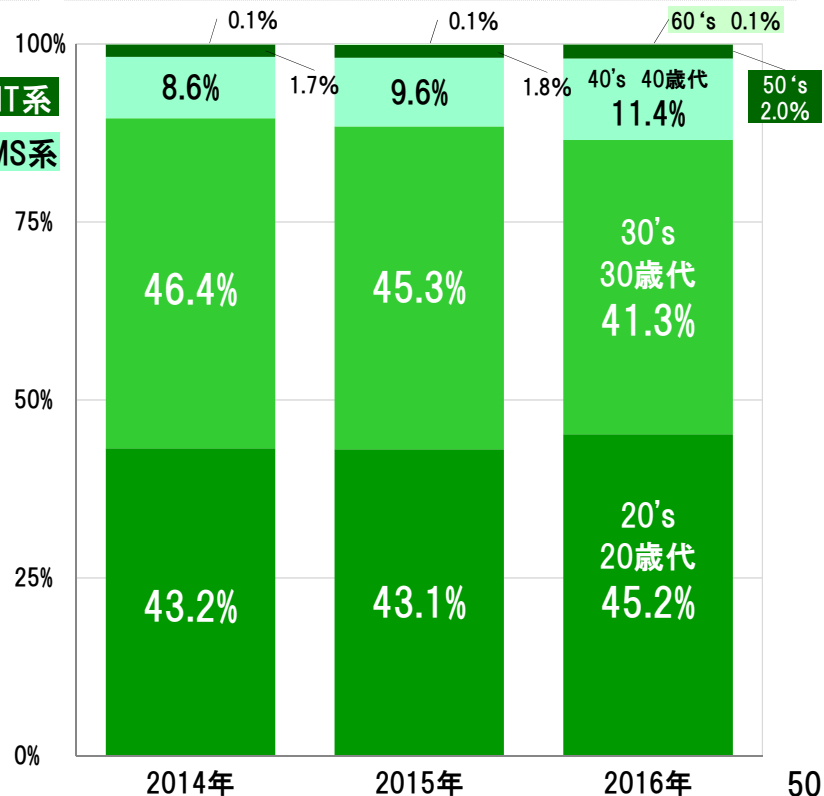
3月末現在

✓ 技術分野は、機械系、電気系エンジニアで8割超

技術分野/Technical field



年齢/According to age



## 【連結】業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高	71,255	79,120	83,223	82,229	82,102	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906	82,136	87,888
売上原価	49,648	54,460	56,685	57,701	57,777	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370	60,481	64,661
原価率	69.7%	68.8%	68.1%	70.2%	70.4%	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%	73.6%	73.6%
売上総利益	21,606	24,660	26,538	24,528	24,324	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536	21,654	23,227
販売費及び一般管理費	9,339	12,371	14,053	12,946	12,959	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556	12,114	12,352
販管費率	13.1%	15.6%	16.9%	15.7%	15.8%	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%	14.7%	14.1%
営業利益	12,267	12,289	12,485	11,581	11,365	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979	9,540	10,874
営業利益率	17.2%	15.5%	15.0%	14.1%	13.8%	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%	11.6%	12.4%
営業外収益	106	87	137	74	84	87	4,729	2,146	114	97	50	113	29
営業外費用	90	185	59	169	115	107	77	178	32	24	51	10	58
経常利益	12,283	12,190	12,562	11,487	11,334	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978	9,643	10,845
経常利益率	17.2%	15.4%	15.1%	14.0%	13.8%	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%	11.7%	12.3%
特別利益	149	393	538	5	6	13	32	378	—	58	—	20	1,084
特別損失	477	2,682	2,235	5,092	1,826	1,094	130	234	4	215	146	3,621	65
税金等調整前純利益	11,955	9,900	10,866	6,400	9,514	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832	6,041	11,865
法人税等・少数株主損益	5,246	5,192	5,563	6,105	4,556	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858	2,381	3,781
当期純利益	6,709	4,707	5,302	295	4,958	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659	8,083
純利益率	9.4%	6.0%	6.4%	0.4%	6.0%	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%	4.5%	9.2%

51

## 〈メイテック〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高	59,518	61,109	61,425	61,795	62,956	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675	68,878
売上原価	40,927	42,087	42,380	43,134	43,875	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742	47,857	50,884
原価率	68.8%	68.9%	69.0%	69.8%	69.7%	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%	74.0%	73.9%
売上総利益	18,591	19,021	19,045	18,660	19,081	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134	16,817	17,994
販売費及び一般管理費	7,833	7,802	7,913	8,039	8,620	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382	8,891	8,932
販管費率	13.2%	12.8%	12.9%	13.0%	13.7%	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%	13.7%	13.0%
営業利益	10,757	11,219	11,131	10,621	10,460	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751	7,925	9,061
営業利益率	18.1%	18.4%	18.1%	17.2%	16.6%	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%	12.3%	13.2%
営業外収益	324	530	458	4,988	356	564	3,840	1,976	389	314	426	523	517
営業外費用	90	35	33	109	48	76	53	150	14	19	426	10	52
経常利益	10,991	11,714	11,556	15,500	10,768	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149	8,438	9,526
経常利益率	18.5%	19.2%	18.8%	25.1%	17.1%	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%	13.0%	13.8%
特別利益	61	525	102	5	3	7	2	3	—	462	—	324	1,088
特別損失	412	800	132	10,202	2,084	2,912	626	318	66	228	372	3,673	50
税引前当期純利益	10,641	11,439	11,526	5,304	8,687	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776	5,089	10,563
法人税等合計	4,597	4,586	4,706	5,388	3,749	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352	1,749	3,171
当期純利益	6,044	6,853	6,820	▲83	4,938	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425	3,340	7,391
純利益率	10.2%	11.2%	11.1%	▲0.1%	7.8%	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%	5.2%	10.7%

52

## 〈メイテックフィルダーズ〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高	8,692	9,729	10,382	10,748	10,747	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911	13,327
売上原価	6,428	7,234	7,655	7,888	7,759	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084	9,154	10,288
原価率	74.0%	74.4%	73.7%	73.4%	72.2%	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%	76.9%	77.2%
売上総利益	2,264	2,495	2,727	2,859	2,987	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502	2,757	3,039
販売費及び一般管理費	989	1,174	1,357	1,551	1,677	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646	1,682	1,834
販管費率	11.4%	12.1%	13.1%	14.4%	15.6%	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%	14.1%	13.8%
営業利益	1,275	1,321	1,369	1,308	1,310	819	▲1,461	575	537	648	856	1,073	1,204
営業利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.2%	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%	9.0%	9.0%
営業外収益	5	6	3	3	10	6	848	182	3	3	1	—	—
営業外費用	—	—	—	1	1	—	5	1	—	—	15	—	—
経常利益	1,280	1,328	1,373	1,310	1,319	825	▲618	757	540	651	841	1,074	1,205
経常利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.3%	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%	9.0%	9.0%
特別利益	88	5	6	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
特別損失	64	—	3	4	5	13	2	1	—	—	—	5	7
税引前当期純利益	1,304	1,333	1,376	1,306	1,314	811	▲620	756	540	651	841	1,068	1,198
法人税等合計	562	544	560	537	544	344	313	▲187	264	272	358	420	412
当期純利益	742	789	816	768	769	467	▲933	943	275	378	483	648	786
純利益率	8.5%	8.1%	7.9%	7.1%	7.2%	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%	5.4%	5.9%

53

## 〈メイテックネクスト〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高				8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321
売上原価													
原価率													
売上総利益				8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321
販売費及び一般管理費				207	470	559	349	333	446	512	577	746	887
販管費率				2,587.5%	186.5%	116.5%	104.5%	76.0%	75.2%	69.8%	66.2%	66.0%	67.1%
営業利益				▲198	▲217	▲78	▲14	104	147	221	295	385	433
営業利益率				▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲4.2%	23.7%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%
営業外収益				—	—	—	2	2	—	—	—	—	—
営業外費用				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経常利益				▲198	▲217	▲78	▲12	106	147	221	295	385	433
経常利益率				▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲3.6%	24.2%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%
特別利益				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益				▲198	▲217	▲78	▲13	106	147	221	295	385	433
法人税等合計				—	—	1	—	—	—	19	95	141	145
当期純利益				▲199	▲217	▲79	▲14	105	147	201	200	243	288
純利益率				▲2,487.5%	▲86.1%	▲16.5%	▲4.2%	24.0%	24.8%	27.4%	22.9%	21.5%	21.8%

54

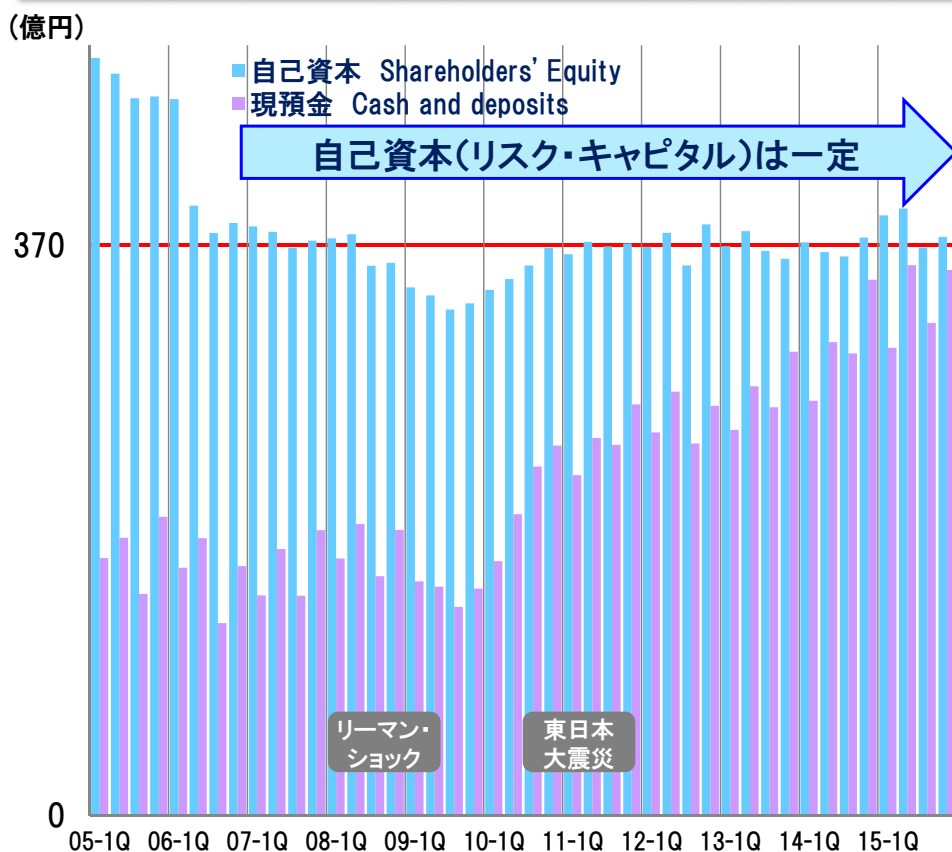
# 【連結】バランスシート推移

(百万円)	2007/3/31	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31
現金・預金	16,177	18,512	18,526	14,732	23,999	26,686	26,592	30,104	34,773	35,413
受取手形・売掛金	13,256	12,841	10,985	9,582	10,245	10,675	10,887	11,297	12,858	13,823
流動資産合計	35,564	35,356	33,295	28,444	37,661	40,643	41,802	44,998	51,639	53,104
有形固定資産	14,548	13,374	12,818	12,069	11,688	11,257	10,908	10,555	7,207	5,721
固定資産合計	21,914	22,428	20,934	19,180	18,053	16,915	16,199	16,447	13,458	11,363
資産合計	57,479	57,784	54,230	47,625	55,714	57,559	58,002	61,445	65,098	64,468
流動負債合計	12,559	13,764	11,026	6,392	10,016	11,165	9,683	12,589	15,797	13,650
固定負債合計	6,236	6,422	7,034	7,789	8,603	9,183	9,895	12,667	11,735	13,212
負債合計	18,795	20,186	18,061	14,181	18,619	20,349	19,579	25,257	27,532	26,862
株主資本	39,144	38,048	36,747	34,101	37,745	38,017	39,264	38,299	39,619	39,973
その他	▲461	▲449	▲577	▲658	▲651	▲808	▲841	▲2,111	▲2,054	▲2,367
純資産合計	38,683	37,598	36,169	33,443	37,094	37,209	38,422	36,188	37,565	37,605

営業活動CF	6,010	8,486	6,308	▲1,545	9,291	5,753	5,205	8,893	8,434	6,910
投資活動CF	▲955	124	623	▲19	287	▲292	▲465	▲398	▲275	1,487
財務活動CF	▲8,366	▲5,997	▲5,580	▲1,835	▲104	▲2,769	▲4,837	▲4,991	▲3,495	▲7,752
現預金の増減額	▲3,303	+2,634	+1,313	▲3,394	+9,467	+2,691	▲93	+3,511	+4,668	+643

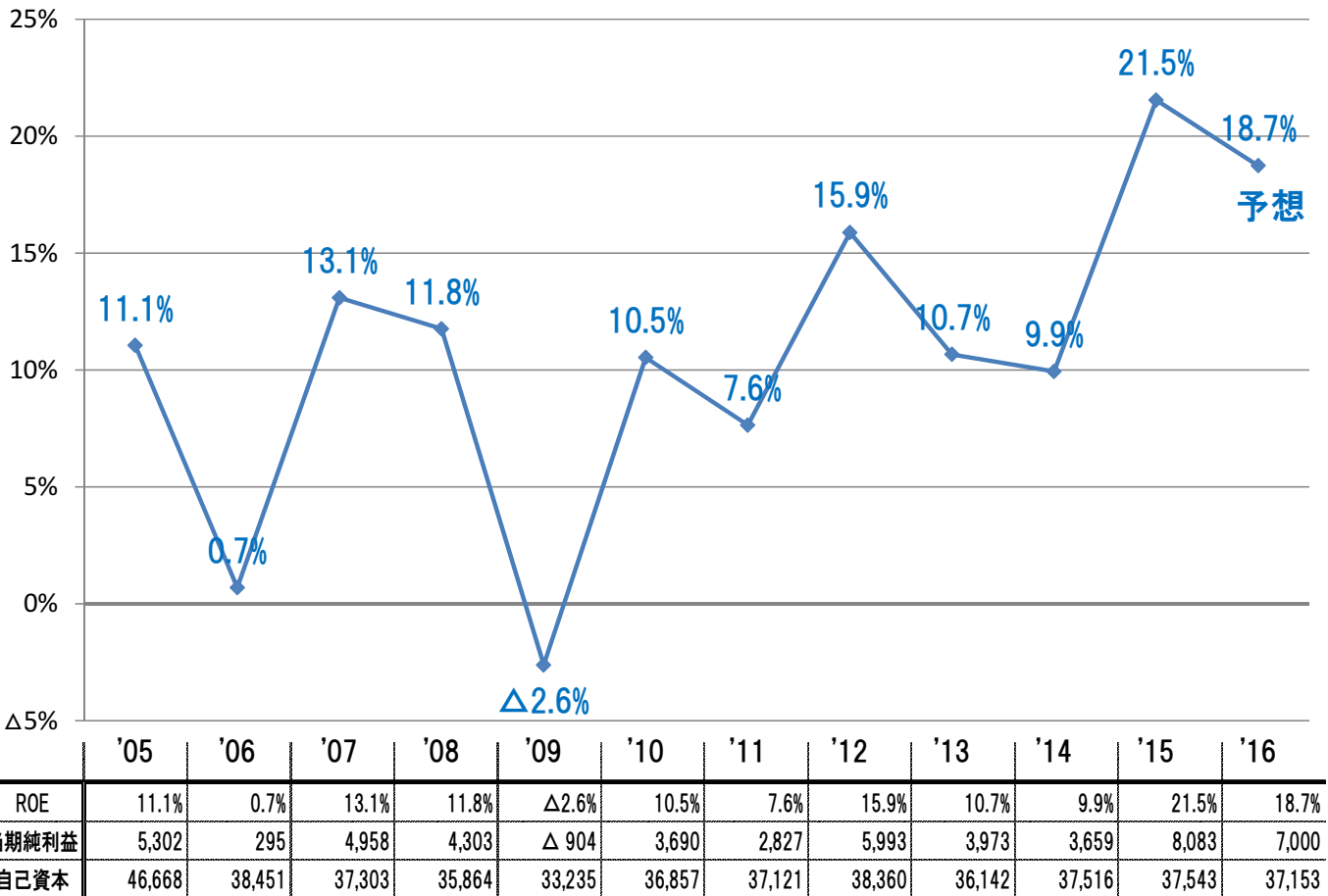
## 自己資本・現預金

- ✓ 既方針に則した利益配分を継続し、自己資本は約370億円を維持
- ✓ 今後の成長目標も見据えて、現状水準の「自己資本の“質と量”の充実」を優先



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠  
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

# 連結自己資本当期純利益率:ROE



# 利益配分実績と予想

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	実績 2015年度	予想 2016年度	
配当性向(連結)	65.1%	1,085.7%	50.5%	58.9%	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	50.3%	
純資産配当率(連結)	7.1%	7.4%	6.5%	6.9%	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%		
年間配当	1株当たり	@¥90.50	@¥89.00	@¥72.00	@¥75.00	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥144.00	@¥120.00
	金額(百万円)	3,329	3,162	2,488	2,518	812	911	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	3,524
中間配当	1株当たり	@¥44.00	@¥44.00	@¥37.50	@¥47.00	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00	@¥51.50
	金額(百万円)	1,630	1,579	1,304	1,590	812		961	981	983	1,344	1,908	1,512
期末配当	1株当たり	@¥46.50	@¥45.00	@¥34.50	@¥28.00		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥81.00	@¥68.50
	金額(百万円)	1,699	1,583	1,184	928		911	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,011
自己株式取得	株数(千株)	1,405	1,353	857	1,174			421	1,506	641	269	279	
	金額(百万円)	5,100	5,099	3,100	2,800			700	2,800	1,800	899	3,799	3,500
総利益配分額(百万円)	8,429	8,261	5,588	5,318	812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,024	
株式消却	株数(千株)	1,562	1,400		342			400	1,700	500	300	900	
株価	期初4月1日	¥3,830	¥3,870	¥3,860	¥3,040	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865
	期末3月31日	¥3,870	¥3,800	¥3,020	¥1,216	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	
1株当たり当期純利益	@¥138.93	@¥8.20	@¥142.64	@¥127.31	@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥238.39	
1株当たり純資産	@¥1,274.10	@¥1,092.80	@¥1,086.71	@¥1,081.85	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59		

# 自己株式消却の原資確保＝資本金・資本準備金の減少

✓ 利益配分方針に沿って取得した自己株式の消却は「その他資本剰余金」を充当してきたが、今後の消却原資を確保する為に、資本金・資本準備金を減少する（本年6月の株主総会承認を前提）

- 自己株式の取得及び消却は資本の株主への返還と認知し、原資は資本剰余金を充当
- 配当は利益の株主への配分と認知し、原資は利益剰余金を充当

(単位:百万円) 単体	2007年	2008年	2008年度～ 2015年度 自己株式 取得額	2016年	本件後	増減
	3月31日	3月31日		3月31日		
資本金	16,825	16,825	12,798	16,825	5,000	▲11,825
資本準備金	15,480	4,210		4,210	1,250	▲2,960
<b>その他資本剰余金</b>	—	11,270		281	15,067	+14,785
利益準備金	4,202	—		—	—	
その他利益剰余金	3,841	10,033		21,207	21,207	
自己株式	▲1,008	▲4,115		▲5,989	▲5,989	
株主資本	39,341	38,224		36,535	36,535	±0

## コーポレート・ガバナンス～1/2

✓ 本年4月26日と5月10日、コーポレートガバナンスに関する基本方針を改正  
→ ①社外取締役を委員長とする委員会の見直し、②役員報酬算定の見直し

	改正:2016年4月～	改定前
組織形態	監査役設置会社	
任意の 仕組み	<b>コーポレートガバナンス委員会</b> 委員長:社外取締役、委員:取締役全員	
	・取締役会の実効性に関する分析・評価 ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議	取締役会の意思決定プロセスのレビュー、など
	<b>役員人事諮問委員会</b> 委員長:社外取締役、委員:CEOと社外取締役  <b>プロセスの適正性の評価</b> ・代表取締役CEOの選解任 ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価 ・取締役・監査役候補者の指名 ・社内業務執行取締役の報酬  <b>CEO候補者選考協議会</b> 従前のCEO指名委員会を発展的に統合	<b>CEO指名委員会</b> 委員長:社外取締役 グループCEOの最適格者を客観的に協議・選考

- ✓ 業績連動率を更に高める役員報酬へ見直し(本年6月の株主総会承認を前提)  
→ 株主総会決議は報酬枠へ変更、役員人事諮問委員会協議を経た個別報酬を継続開示

## 固定報酬

	改正:2016年4月1日～		改正前
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額	28,800千円 (月額 2,400千円 △20%)	月額 3,000千円 以内
(COO)			月額 2,500千円 以内
取締役	年額	19,200千円 (月額 1,600千円 △20%)	月額 2,000千円 以内
社外取締役	年額	9,000千円 (月額 750千円 +50%)	月額 500千円 以内
常勤監査役	年額	24,000千円 (月額 2,000千円 -)	月額 2,000千円 以内
非常勤監査役	年額	7,800千円 (月額 650千円 +30%)	月額 500千円 以内

## 業績連動報酬など

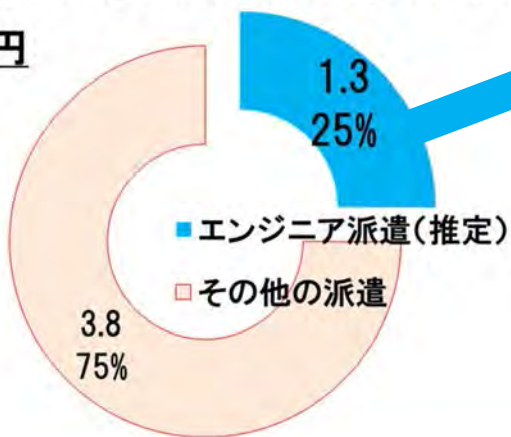
	改正:2016年4月1日～	改正前
連結当期純利益(業績連動役員報酬を含まない)金額の	2.5% 上限:年額250百万円	2.0%
うち社外取締役	支給対象外	1名あたり600万円以内
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	(新設)

61

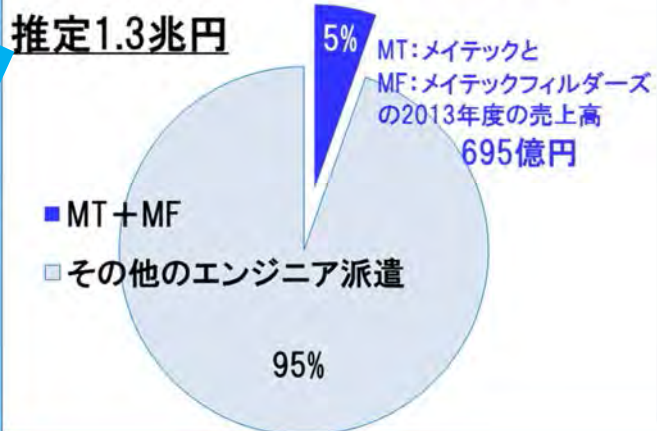
## エンジニア派遣市場(推定)

- ✓ エンジニア派遣市場のメイテックグループのシェアは推定5%強
- ✓ メイテックの時間単価の高さは突出 → エンジニアの「技術力×人間力」が高い

2013年度の労働者派遣事業・売上高  
5.1兆円



### エンジニア派遣市場(推定)

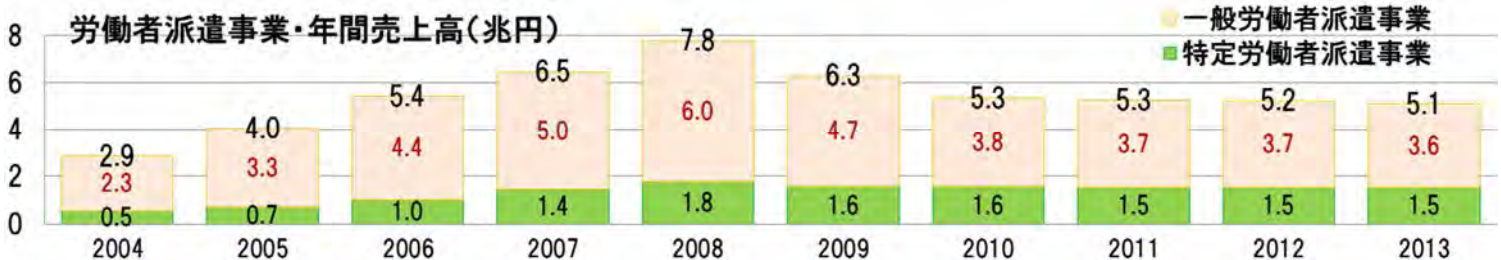


メイテック  
@¥5,004  
(2013年3月)

エンジニア派遣  
@¥3,480  
(推定)

特定派遣  
@¥2,960

一般派遣  
@¥2,127



出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

62



# 株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2016年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	7	0.1%	921,101	2.9%
信託銀行	20	0.3%	7,770,600	24.8%
生保・損保会社	24	0.4%	3,946,083	12.6%
証券金融・その他金融会社	6	0.1%	39,760	0.1%
証券会社	40	0.7%	599,128	1.9%
事業会社・その他法人	93	1.5%	573,578	1.8%
外国法人・外国人	206	3.4%	12,237,817	39.1%
個人その他	5,687	93.5%	5,211,933	16.7%
合計	6,083	100.0%	31,300,000	100.0%

63

## 会社概要 メイテック

本 社	東京都港区赤坂
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,000社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市34拠点
グループ会社	<p>【派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式会社メイテックフィルダーズ</li> <li>■ 株式会社メイテックキャスト</li> <li>■ 株式会社メイテックEX</li> </ul> <p>【紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式会社メイテックネクスト</li> <li>■ 株式会社all engineer.jp</li> <li>■ 明達科(上海)科技有限公司</li> <li>■ 明達科(上海)人才服务有限公司</li> </ul> <p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アポロ技研株式会社</li> </ul>

64